臺灣日日新報
本日八頁
發行兼編輯人 佐々木 貫
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社

銘酒 楓白鹿

余漢謀軍主力の潰滅は時の問題

皇軍の士氣は新春更に昂る

【廣東一日發同盟】蔣介石は昨年來冬季攻勢をはじめ四季を通して攻勢を呼號し、我が反撃に遭つてあへなく失敗に終るや徒らに[illegible]して冬季攻勢の無謀を繰返し、南支においても南寧失陷後反攻の足掛きとして[illegible]においても又攻撃をはじめた、この敵は第四戰區の精鋭と稱し、兵力は十四師十餘万に達し、また白耶士湖附近以來一四軍を要して[illegible]してゐたが、[illegible]軍はこれに對して斷乎その戰略を決し反撃の軍を進めるや、晝夜を分たず山岳地帶を突破し[illegible]て敵を捕捉殲滅し、所在の敵軍を[illegible]した[illegible]日附近において北江を渡河し所在の敵を追つて[illegible]附近に[illegible]既に敗殘の敵を追ひ目下刻々その包圍圏を縮小しつつあり、余漢謀軍主力の潰滅も時間の問題となつた、今次の作戰の目的は[illegible]に蠢動する敵の撃滅にあり、既に莫大な戰果を收めたが、[illegible]において[illegible]、敵は一年を費して[illegible]の兵力の大半を失つたのである、[illegible]皇紀二千六百年の新春を迎へて更に戰果を擴大すべく健鬪してゐる

それはかりか街の家屋と云ふ家屋は悉く放火され徒らに[illegible]火炎すぶり[illegible]の中を家を失つた牛や豚が彷徨してゐる有様である、[illegible]ふところと住民の焼死體がころがつてゐるのは實に意外であつた、かうした光景は[illegible]ばかりで無く[illegible]泣ひたい程の無[illegible]てゐるのだ、ところがこの[illegible]の際に支那軍の[illegible]不[illegible]行為があつたことが[illegible]附近へ[illegible]のである、この附近一帶で反抗した余漢謀軍は我が皇軍の包圍[illegible]

脫出の敵を擊滅

大包圍圈は逐次縮小

【廣東一日發同盟】廣東北山岳地帶における我が軍の殲滅包圍戰は[illegible]その包圍圈を縮小中で、今や完く袋の鼠と化した敵は[illegible]、右往左往の混亂狀態を呈しつつあるところに殲滅されてゐる、[illegible]に脫走せんとしてゐたが、[illegible]西南方地區において我が[illegible]田村、川久保、[illegible]の諸部隊に依つて殲滅され、北方に脫走せんとした敵第百八十六師の有力部隊はこれ亦我が部隊の[illegible]に遭つて敗散し、この外[illegible]の如きは[illegible]に分散し、又沙田附近にも損害を失つて分散した各師の敗殘兵の[illegible]方面の敵[illegible]は目睫の間に迫つてゐる、この[illegible]に依つて我が軍の[illegible]

居殘り良民を保護

【廣東一日發同盟】[illegible]し我軍は[illegible]を[illegible]して[illegible]

蔣軍の慘虐行爲

住民を焚殺又は射殺

【〇〇にて一日發同盟】我が皇軍[illegible]官渡塘、三都等の頑敵を追つて[illegible]は[illegible]の如く[illegible]平和のシンボル日章旗[illegible]を高く揭げて迎[illegible]ゆるところで敵の憎んでも[illegible]る殘虐極まる良民の焚殺の跡を見たのである、部落と共に灰燼へ一[illegible]して[illegible]らせて城門を潰つた[illegible]部落となつた[illegible]の[illegible]らしい[illegible]は頭から[illegible]べんを[illegible]から[illegible]るではないか、年のゆかない少年や老人[illegible]がその中で死んでゐた、

英德附近の鐵道橋—總督府許可濟

青山山嶺の敵に猛攻殲滅の火蓋

【南昌一日發同盟】江西省南昌、奉新中間に[illegible]する青山山嶺に蠢動する百八師の殘敵[illegible]を殲滅すべくわが[illegible]田、辻、岡崎、田中、竹田の各部隊は一日午前九時[illegible]より、又[illegible]、[illegible]各部隊は東側より相呼應して[illegible]の敵を一日[illegible]を加へてこれを猛攻しつつ[illegible]を開始した

陸鷲、敵部隊を猛爆

【漢口一日發同盟】[illegible]の[illegible]方の山中において[illegible]の敵部隊[illegible]加へ多大の損害を與へた

海鷲全支に活躍

報道部發表

【上海一日發同盟】[illegible]

北支方面戰況

一、海軍航空部隊は一昨三十一日午前午後の二回に亙り山東半島中央部[illegible]、下[illegible]及び[illegible]等に[illegible]する敵[illegible]を猛爆し、これに莫大の損害を與へたり

二、同日他の航空部隊は山東半島北部及び東南の[illegible]を爆撃せり

中支方面戰況

一、蘇北地區において[illegible]協力せる海軍航空部隊は一昨三十一日[illegible]に多大の損害を與へたり

二、昨一日海軍航空部隊は[illegible]

三、わが江上部隊は去る三十日[illegible]

南支方面戰況

一、海軍航空部隊は三十一日及び一日の兩日[illegible]を攻撃し[illegible]大の戰果を收めたり

戰勝と新春に喜びの二重奏

英德占領の部隊

【英德一日發同盟特派員】久しい[illegible]の一大據點であつた英德に皇軍の進入する所となり、[illegible]新しい年とともに新しい平和が訪れた、[illegible]して逃走した支那軍に依つて[illegible]された[illegible]英德の街に新春を迎へた皇軍兵士達は[illegible]故國の正月を偲んで附近の林から切つて來た松で門松を立て、[illegible]新春料理の[illegible]と新春の一面の喜びに浸るのだつた

英國は更に國內的惱み

【ニユーヨーク二日發特約電報】ソ、芬戰爭のその後の進展狀況を觀るにフインランド軍の一部はソ聯領內に突入して戰ひつつあり、又芬軍當局はソ聯軍を擊退、各地に新らしい勝利を收めつつある旨を發表してゐるが、然しソ聯軍が大規模の對芬軍攻擊を企圖して先週來前線なる赤軍兵士の大部隊を續々集結しつつあることも明かである、ソ聯當局はレニングラード軍管區指揮官メレチコフ將軍の後任にグリゴリー・シユテルン將軍を任命

對芬戰爭 の赤軍總指揮に當らせることとなつたが新指揮官の下にカレリア地方に移動したシベリア・コーカサス部隊を配屬させるが、この精鋭部隊は少くとも十五万人の多數に上る如くである、シユテルン將軍こそは例のノモンハン事件の際外蒙軍を指揮し日本軍と戰つた人物である、フインランド側では同將軍の就任に依りソ聯軍の攻擊がヘルシンキを目差し次にマンネルハイムライン突破に[illegible]あるものと豫想し、又ソ聯軍は出來るだけ早くこの[illegible]を企圖しつつといはれてゐる、ロンドン及びその他都市の第三國側の

觀測者達 は若しも[illegible]今一ト月だけソ聯軍の攻勢[illegible]ることが出來れば英佛及びイタリー等が何らかの形式に依り[illegible]干渉する反ソ戰線を結成[illegible]知れない、ソ聯軍はこの[illegible]反赤軍戰線の整備に[illegible]て對芬戰に勝利を確保す[illegible]

同情は更 に[illegible]

ソ芬戰爭 [illegible]

爆發事件 はアイルランド[illegible]

愛蘭で爆發事件

英國海軍當局が突如香港を閉鎖

【香港一日發同盟】[illegible]

明年度の豫算總額約二億五、六千萬圓

歸臺の森岡長官語る

長官は來月中旬に上京

來年度豫算について中央と折衝する爲上京中であつた森岡總務長官は船中で正月を濟まし三日午後基隆入港の郵船大和丸で須田入歩課長、三宅專賣局等を伴へ歸臺したが、以下は[illegible]

來年度の外地特別會計豫算は大藏省の方が四日頃きまり六日の閣議で決定の運びとなる模樣で從つて總督府の豫算總額も未だ[illegible]額の正確な集計は出來てゐないが未定分を除いても約二億五、六千万圓と云ふ

未曾有の巨額 に上る豫定で目ぼしい事業としては[illegible]

土地改良事業 [illegible]

僕の顏を見る [illegible]

晉南に和平同盟

山西軍に多大の影響

【太原二日發同盟】[illegible]

揚子江の英艦

二隻は廢艦

【上海二日發同盟】[illegible]

英大使香港着

近く空路重慶へ

【香港二日發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

天無口

[illegible]

家庭に、工場に、商店に電氣の消費量の少い
信用ある良質電球を選ぶことが大切です。

此の要求を滿たすのは同じ明るさで電力二割の節約をする新マツダランプ以外にはありません。それはマツダランプ三浦順一技師發明の二重コイル線條を使つてゐるからです。

壽天壤無窮
皇紀二千六百年

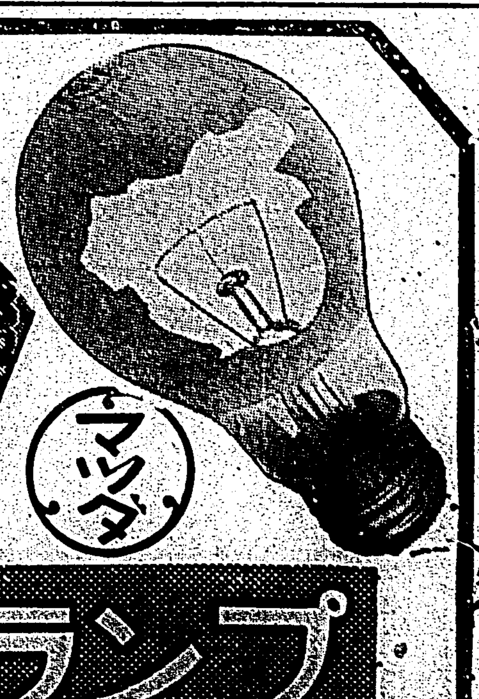
電力節約 2割を目標に

二重螺旋線條

マツダ

電力節約の標準電球
新マツダランプ
25W 30W 40W 60W

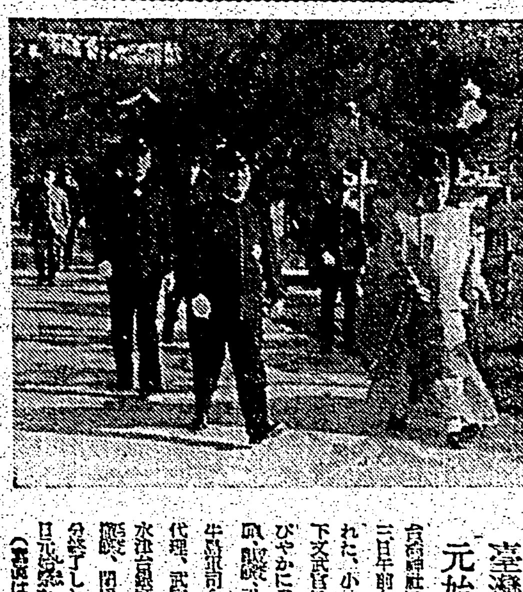
東京芝浦電氣株式會社 マツダ支社



聖上陛下御親拜

建國式年の元始祭

悠久限りなき惟神の大道――皇國の神勅を畏くも　天皇陛下が仰がせ給ひ、かくて神ながらに御代しろし召し給ふ尊き御儀元始祭は皇國式年の新春御盛儀一入と深き裡に三日午前十時から宮中三殿にかいていとも嚴かに御親祭あらせられた　秩父宮殿下を始め奉り、各皇族方御參列阿部首相以下文武百官は午前九時半前後して夫々着床、神樂歌只神韻なる裡に御儀は嚴かに進められ、三條掌典長恭々しく祝詞を奏し奉れば　天皇陛下には黃櫨染御袍の御束帶神々しく、御笏を把らせ給ひて内陣の御座に御參進、玉串を捧げられて御親拜、御告文を奏し給へば玉音の御聲々殿外にても伺はれ畏き極み諸員は「天壤無窮」「同床共殿」「天津神籬」「侍殿防護」「齋庭之穗」の惟神皇國の五大神勅の畏く、又目のあたり拜す御親祭の御儀の更に尊きに恐懼し奉り稍然とかしこまる、次いで　皇后陛下御代拜、皇太后陛下の御代拜あり、各皇族方殿上石階上にて御拜禮、諸員拜禮して御親祭深き御儀は午前十一時頃終了、正午からは有資格者相次いで參拜、年の始めに皇國の大義を欽仰し奉り、天業翼賛の誠を捧げて非常時局下皇運の隆昌を祈念し奉つた



臺灣神社の元始祭

臺灣神社における元始祭の式典は三日午前九時より嚴かに舉行された、小林總督、牛島軍司令官以下文武官民二百餘名、正裝もきらびやかに參列し、先づ奏樂裡に開扉、獻饌、祝詞奏上、次で小林總督、牛島軍司令官、文官總代一宮長官代理、武官總代牧大佐、民間總代水津台銀頭取等の玉串を奉奠し、撤饌、閉扉の御儀あつて同十時五分終了した、向建功神社にても同日元始祭を嚴修した（寫眞は小林總督の參拜）

中日永久和平への途

余の幾つかの主張

張公博

【上海一日發同盟】昨年汪先生が二十九日の通電を發表して今や將に一年、中日和平運動は徐ろに展開した、然して余は日夜如何にすれば日支戰爭を終らしめ兩國をして永久に和平たらしむべきかを考へてゐた、これは單に原則問題であるばかりでなく具體的辦法を提出する時に至つたからである、實は國民政府樹立以前余は戰爭を主張した事はなかつたが和平も主張しなかつた、何となれば余は兩國の間に解くべからざる怨恨が横たはり兩方は何れも解く可からざる敵意を抱いてゐると感じたからである

今や中日兩國は相戰つて二年餘りとなつた、雙方は同じやうな重大な犠牲を拂ひ日本側は以前の觀察は全く誤り、中國は戰ずして屈伏せしめることが出來るとか一戰にして中國を瓦解せしめる事が出來ると言ふ觀念の誤つてゐる事を根本的に覺とつた、中國側も以前は戰爭を續けて行けば日本の經濟は必ず崩潰する、中日戰爭は日本の革命を惹起するなどとの考へ方が誤つてゐた事を根本的に覺とつた、兩方共中國は戰役の勝利を把握する望みなく日本も又中國を滅亡する事が出來ないと覺とるに至つた、内心の嫉妒もこの戰爭中に相互の認識によつて消滅したこの時こそ中日兩國が最も絶好の時期であり、又中日兩國が斷然と永久和平を締結する機會である、しかし中日兩國は如何樣にすれば永久の和平が出來るか、余は一ケ年考へた、之は原則的の問題ではなく具體方法の問題である、何となれば和平の原則は近衛首相の聲明と汪先生の通電に特に確立されたところで、所謂具體方法なるものが實質的に言へば即ち講和の條件を如何樣にすれば中國が依然として一個の獨立自由の國家たる事を保持し得るかと言ふことである、目下和平運動は進展中である、所謂具體條件もまた決定の時期に至つてゐないがしかし余は幾つかの主張を提出して雙方の注意を促し度い

一、中國の要求するのは獨立自由である、換言すれば國家の主權と行政の完整である、余は從來の日本の識者を醉み朝野の言論を聞いた、彼等は中國の獨立自由をよく諒解しそれは中國に有利であるのみならず又日本にも有利であり更に東亞にも有利であるとしてゐる、余は雙方に將來この原則に基き和平條件を討論し中國の獨立自由を妨害するに足る事實に對しては一大決心の下にこれを消滅する事を望むのである

二、中國の要求するのは統一である、凡そ分裂を意味する行動と對策はいづれも中國の歷史、國情及び利益に背反するものである、吾々は戰爭中には已むを得ず軍事的必要から地方的政權を臨時に設置しなければならぬ事を知つてゐるが、然し之は一時的のものであるか、或は已むを得ざるものである、若し和平の後依然としてかかる地方分裂を維持する場合には中國は安定出來ず長期の擾亂を形成するに至るであらう、その結果は中日とも永久の平和を得るに至らず結果は依然として暫定的な和睦の局面にすぎないものとなる、故に余は雙方が和平條件を討論する際、一切の分裂化せしめる事實を取消してしまふことを希望する

三、中國の要求するは原則實現する事實である、余は曾て日本の識者の言論が悉く一致して中國の獨立自由を認めることを原則となしてゐるのを見た、然し軍事に依つて發生した既成の事實は已むを得ざる事情の下に於ては暫く之を容認し、漸次改正して最高原則に合致せしめることも妨げない、然し最近の歷史はかかる希望が全く空想であり實現し難いものであつた事を物語つてゐる、ウイルソンがパリ講和會議にかて歐洲の一般現實政治家の爲にさへぎられ既成事實に對して讓歩せざるを得なかつたが國際聯盟についてのみは斷じて讓らなかつた、彼は一度國際聯盟が成立すればヴエルサイユ條約の修正さるべき機會が必ず到來するであらうと信じた、然しヴエルサイユ條約は締結され國際聯盟は成立したが、過去二十年間にかてヴエルサイユ條約は未だ一字も改正されず遂に今回の第二次歐洲大戰を惹起するに至つた、吾々は過去に鑑みて將來を愼ひ、徒らに空論な原則を決定し、幾多の既成事實を維持する事を望むものではない

四、中國が要求するところは日本の中國に對する信頼であり、日本の識者は屢々中日和平には相互の信頼が必要であると述べてゐる、之は尤な話であるしかし吾々は日本が戰勝國として自己の利益を主張することを望まない、然し日本は何と言つても東洋的勝利者であり、現在沿海地方は日本の支配を受け中國の幾多の地方は日本に占領されてゐる、日本が中國の信頼を要求する前に先づ日本自ら中國を信頼すべきで、換言すれば日本は最高の和平條件を大々的に中國に與へ、中國に對し日本は中國を征服下する意思のない事を示すのみならず、又中國を支配する心の無い事を示すべきである、かかる事實が存在してこそ双方は互に信頼し合ひ中日の百年の大計が確立されるのである

中國の具體的要求はもとより今日一紙で述べ盡されるものではないが、最後に余は今次の中日和平に就いて日本が中華民國と和を講ずるのであつて既に汪先生と和を講ずるものではない事を諒解して貰ひ度い、中國の最も要求するのは和平であり、汪先生は國民の希望に基いて困難を顧みず犠牲を避けずこの運動を指導して居る、日本の提出する條件が中國國民として受け容れられるものであれば汪先生は之を受容れ、中國國民として受容れられないものであれば汪先生も亦決して之を受容れる事が出來ない、余は兩國の人士が天を怨み人を憫むの情に基いて東亞百年の大計を樹計せん事を希望し、兩國人士が外交形式に依つて時局的な和睦をなす事を好まない、中國四億の人民は今や正義に合する和平條件の成立を期待してゐる、中日兩國人士は自己の責任を認識し、日本人は中國の爲を思ひ、同時に中國人も亦日本の爲を思ふべきである雙方は東亞の爲を思ふべきである若し雙方が現實に捉はれ最高の理想に基かないならば吾々は今次の日支事變を解決し得ざるのみならず更に將來に無窮の禍根を作ることとなるであらう

日米間に滿足な解決點を見出さん

米下院外交委員長談

【ワシントン一日發同盟】ブルーム下院外交委員長は一日新聞記者團との會見で『ハル國務長官は日米間に現存する意見の對立を問題化せしめることのないやう滿足なる解決點を見出すであらう』と前提し日米問題に關するアメリカ議會の態度に就き左の如く語つた

既に政府は消極的禁輸的の經濟的報復手段を講じてゐることでもあり、對日禁輸問題に關して議會が何等か決定的措置に出るやうなことは多分あるまい、日米間に如何なる種類の妥協が如何なる目的の下に成立するかは余が茲で言明する限りではない

敷設機雷利用を

米國海軍が計畫

【ワシントン一日發同盟】アメリカ政府は現下の國際情勢に即應して國防の充實に大童であるが海軍省は今回大西洋沿岸並に太平洋沿岸各地の港灣及びパナマ運河防備のため、敷設機雷の利用を計畫してゐる模樣である、これ等機雷は多くボストン、ニユーヨーク、ノーフオーク、パナマ運河、サンデイゴ、サンペドロ、サンフランシスコ、ピユゲツトサウンド島の各港灣に貯藏敷設せられる筈で既にこれが所要經費は沿岸警備費として總額一億七千五百萬弗中に含められ、ルーズベルト大統領より來るべき議會に提出の手筈となつてゐる模樣である

西臺灣水産の重役

【馬公發】馬公漁港完成後に澎湖廳下を中心とする水産業開發に當るべく林投が投資して去る日登記立された資本金百萬円の西臺灣水産株式會社では專務取締役石原數馬、取締役總務部長彭形徳太郎の兩氏が今後專らその業務に當る筈で馬公漁港陸上施設は同會社で一手に引續けて之が經營をなす事となつてゐるので近く諸施設工事其他の業務にも本格的に乘り出す事となつた、林投はその傳統的方針として徹頭徹尾專業地元との共存共榮をモツトーとしてゐるから今後惠まれぬ澎湖廳下が受ける利益は大なるものと期待されその健全な發達が大いに望まれてゐる

南邦自動車配當据置

南邦自動車株式會社は昨臘二十九日重役會を開き昨年七月より十二月に至る半期の利益金處分案（配當年五分据置）を查定したが、當期は自動車の配給制限と大差なかりしも部分品の販賣と修繕增加の爲め幾分增收を告げ結局前期前身桑田商會より買收せる營業權の殘額五千円を全部償却して配當五分据置としたわけで本月十六日開催の第七回定時總會に右處分案を附議する由

新秩序建設の進路

外交對談會（1）

白鳥敏夫
三島康夫

獨ソ不可侵條約の電撃的宣言に日本の朝野、愕然としてドイツに對する日本の感情が急速に冷却したかに見られた時、嵐の歐洲から歸朝した前伊太利駐劄特命全權大使白鳥敏夫氏は歸朝第一声として日獨伊樞軸の強化を高唱し、ドイツ絶對信頼すべしと叫んでわが朝野を驚かした、本對談會はこの白鳥氏獨特の見解から現下の複雑怪奇なる國際情勢を眺めて東亞新秩序建設の進路を示したもの、けだし光榮ある皇紀二千六百年初頭のトピツクとして最も興味深きものであらう

三島氏　最近の事實問題から伺ひませう、揚子江の一部開放をやつて貰はばアメリカの側國を取組んで日米關係の打開を行つてゐますが、これで果して日米關係が改善するでせうか僕は相當まだこれから先に困難があると思ふんです、たとへば此方が讓歩した、即ち政治が利いた經濟的並に外交的政治が功を奏したと、さうアメリカは考へるさうすれば之の次にもう少し強硬すれば、もう少し要求するだらう、斯ういふやうな考へ方が當然アメリカに起つて來ると思ふんですが……

白鳥氏　それはさう考へねばならぬだらうね、條約廢棄通告をやつた、これで日本は壓迫し得ると考へたか、これは日本の立場が一見非常に弱く思はれた時代なんだアメリカはかう考へてゐる、第一に日獨伊防共協定といふものの裏には必ず政治的の協定がある、或種の軍事的協約があると一般に思はれてゐた處が支那事變を通じて日獨伊の同盟交渉が始まつたからいろ／＼内容を見て見ると何もなかつた、單にイデオロギーの條約に過ぎなかつたといふことが判つた、然も國内諸勢力の反對があつて到底出來ないといふことを知つた譯です、さうして見れば日本に對してアメリカは何にも遠慮は入らぬ譯だ

第二に、二年半の戰爭で隨分日本は疲れて來てゐる弱くなつて來てゐる、殊に物動計畫にしてもアメリカから物が來なければ絶對に出來ない、この物動計畫の遂行は到底今の日本には出來ぬと見てゐるそれから又ソ聯とは益々關係が惡くなつて來ていつ戰爭になるかも判らぬ、イギリスもフランスも依然として蔣介石を援けてをり、日本國民は剛る自信がなくなつて來てゐる、茲で若しアメリカが經濟的に輸出禁止といふやうな手を打てば日本は一たまりもなく引込んでしまふだらうといふ見込をつけて條約廢棄通告をやつた譯なんだところがその後の國際情勢を見ると、成るほど獨ソ條約が出來た、日本が一見孤立したやうに見えた然るに獨ソ條約の結果ヨーロツパに戰爭になつた、英佛は最早東洋では無力になつてしまつた、ソ聯は反對に日本と妥協して極東から引揚げたいといふ情勢がはつきりして來た、斯うなつて見ると國際的の地位は非常に日本に有利になつて來たのみならず、日ソ不可侵條約を作れといふ声が日本に起り、その可能性が非常に大きい斯うなつて來るとアメリカも考へなければならぬ、日本を壓迫するには、最後には戰爭も辭せぬといふ決意がつかねば出來ぬことであるからだ

對談會に出席した白鳥敏夫大使

これは別問題だが、從來英佛を援けて呉ろこの今のヨーロツパ戰爭を促進して來たのはアメリカの輿論の動向では戰爭に入るまいと思ふ、アメリカとしては戰爭に引入れられるといふ覺悟をしなければならぬ、又既にその危險がある譯です、大西洋で戰爭をしなければならぬので、アメリカは日本に對して強く出られない、通商條約廢棄といふ奴は拳を振上げては見たけれども、實は拳のやり場に困つてゐるのだ、ところが日本の方は強い決意をもつてゐる、アメリカはイギリスが東洋で無力になつたから、イギリスの後見人を務める、斯ういふ役目をもつてゐるといふが、アメリカとしては實に厄介な重荷を背負込んでしまつたのだ、イギリスに代つて支那で日本を抑へるといつても實は彼等は實力を持つてゐない、日本がアメリカに對して讓歩する理は將來もない

揚子江開放といふ問題、これは從來日本は戰爭の必要といふことであれを閉めて來てゐる、實際はまだ日本が支那と今後どういふ關係に立つかといふことも決まらぬ時代にかて、政治的に租界を撤去するとか、或は揚子江を閉めるといふことは云ふ立場ではない譯なんだが、これは實に軍の必要、戰爭の必要上南京まで開いても大なる差支へはないといふことでこれを開いたのであらう

併しながらこれと支那の新秩序とは別問題、支那がいよ／＼日本の援助に依つて新秩序を建設するといふ段階に達すれば、自ら種々な注文があるだらう、治外法權の撤廢、租界の返還、九國條約の問題航行權の問題等について種々注文があると思ふ、今日本が揚子江をどう仕樣といふことは將來の新しい支那を束縛することである、既に事の都合といふことであるならば何もこれは大騒ぎをする必要はない、これに依つて今後も揚子江の航行權といふものを外國に認めるといふことではない譯なんです、實はこの問題は今後の支那がどう出るか、又日支の基本關係がどうならうかが定まつた上で決定さるべきものであるから、新支那が建設された後にこの開放を取消して再び閉鎖するといふことになれば已むを得ないことであらうし、又僕としてはさうなるべきものであると思ふ、それで僕は今のところこの揚子江開放問題は南京まで開くといふことに大きな反對はない譯であると思ふのである

けれども、これがアメリカに通商條約なんかの問題で好意を示して支那の問題について逐次讓歩して行くといふ氣持であるならば、その氣持は僕は大きな間違ひだと思ふ今君の云はれた通り、日本は威せばいくらでも讓つて來るといふ氣持を與へて、爲替管理の問題であるとか從來白人が支那で持つてゐた特權を逐次回復して行くといふ希望を先方に持たせるとかいふことであるならば、これは今後新支那の建設といふことに大きな差支へを來す、その點は僕は警戒しなければならぬ

三島氏　揚子江の一部開放といふことと新支那の建設とは別問題といふことですが、これは作戰上の問題だといふ點について僕は多少異議がある、揚子江の一部開放といふことは本當に新秩序を認めるといふことでなければ一切を開放せぬ、斯ういふ立前でなければならぬと思ふのです、新秩序の問題如何に拘らず一部でも揚子江の開放をやるといふことは從來の立前を一部拋棄したといふことになる、從つて日本は新秩序建設といふ東亞に於ける使命の一角を崩潰させたことになる

白鳥氏　さう、さういふやうに見られないこともない、要するに支那に於ける新秩序の建設を新政權と關係なしに日本の一方的にやるんだといふことになるから、正に君の言ふ通りだ、僕は九國條約の廢棄、租界の撤廢、治外法權の廢止といふことは新しい支那をしてやらしむべきものだと思ふが、過渡期に於けるやり方としては摩擦が少くつて效果の多い方法で進むべきだと思つてゐる、必要があれば日本がやつても一向差支へないが、摩擦を少くしてやらうといふためには支那の新政權を認めてその新政權にやつて貰ふ、新政權が東亞の新秩序を認めてこれと自發的にやる、若しそのために國際關係に摩擦を起すといふことになれば日本の實力を以てこれを支持するといふやり方をするのが外交處理としては本筋ではないかと思ふ、日本の高飛車から不意打といふ非難もあるかも知れないが、その方法でやつて見て不可ない時は第一段の方法として日本が一切取上げてドシドシやつて行くといふことにする、無論今の政府當局が支那の新秩序建設といふ考へを捨てた譯ではないが、今云つたやうな考へ方があるものだと僕は解したい

高級洋服地品揃
臺北市大和町二丁目
KO
逢坂商店
電話 仕入部 四三七三番 紳士服地部 四五四五番 婦人服地部 四六七〇番

營業種目
各種織物賣買、織物原料品及織物ノ加工品ノ賣買、內外貿易、不動產ノ賣買並ニ貸貸借、有價證券賣買並ニ有利事業ノ投資物品ノ委託賣買並ニ代理業
資本金拾五萬圓
S.O
逢坂商業合資會社
代表社員 逢坂憲三郎
臺北市東門町壹六〇
電話 四參七參 四五四五番
振替臺灣貳貳〇壹番

有價證券賣買
丸德商店
臺北市京町二ノ二五
電話 四五五六 [illegible]番
電略タイホクカブマルトク

謹賀新年

虎尾 永井清次

東京火災保險株式會社 臺北出張所長 合田憲爾

臺北市會議員 陳錫慶

臺北市永樂町三ノ三三 新興製藥株式會社 電話五九六〇番

臺北市幸町一六〇番地 松浦米菓工場

七堵庄五堵 堵南炭礦 川口乙助

住友生命保險株式會社臺灣代理店 周珪源

北投善光寺 中野全能 外一同

南日本鹽業株式會社 臺南

興亞院厦門連絡部
長官 水戶春造
政務部長 中堂觀惠
經濟部長 藤村寛太

在厦門 帝國總領事館
總領事 內田五郎

福大公司厦門支店

厦門自來水股份有限公司

厦門製氷股份有限公司

厦門電力股份有限公司

厦門水產組合
厦門魚市場鮮魚部 仲買人組合
厦門魚市場鹽乾魚部 仲買人組合
厦門漁業生產組合

厦門市海後路四二號 厦門荷役倉庫股份有限公司

厦門特別市政府

財團法人 博愛會厦門醫院

福裕公司

陳長福

堀江佐武郎

旭瀛書院

厦門日本尋常高等小學校

日華親善機關 厦門共榮會

厦門共榮會 木村貞次郎

南支厦門出張中ニ付年始缺禮仕候 李步青

東亞海運株式會社 厦門支店長 楠本三九兒

臺灣居留民會議員朝陽公司代表者 林益興

三井洋行 鈴木佐平

高橋近信

豐南信託公司 代表者 林木土

海南洋行 陳學海

日本居留民會

臺灣居留民會

福慶公司

蓄音器 レコード ラヂオ受信機 美亞公司

カフエータカラ 林瑞火

柏原旅館 厦門市思明西路六四

和漢洋御料理 大天食堂

福建物產公司

臺灣居留民會議員 福建物產公司理事長 陳基

森永製品販賣店

廣生堂藥房

カフエー喜樂 陳

厦門昇平路拾五號 桑田商店厦門支店

南泰成百貨商場

御菓子司 廣田彥三郎

カフエー羽衣會館

社交・娛樂ノ殿堂 蝴蝶カフエー

大千世界娛樂場

臺灣善光寺厦門分院 黃秀光

三郎理髮館

大久保齒科 大久保潤二

亞細亞寫眞館

齒科專門 張文雅

義和洋行

蔡世興

義和銀莊

大川クリーニング店

臺日厦門支局 石川

臺日取次店 集美公司

迎春皇紀二千六百年

合資會社
西瀛公司
臺北市永樂町貳ノ八七番地
各種人參 名藥丸散 生熟藥材 特色飲片
代表社員 盧訂
電話四、貳[illegible]參六番
振替九[illegible]番

參茸燕桂 川漢藥材 丹膏丸散 高級製菓
光
吉元藥行
臺北市永樂町四ノ一六
電話五五六貳番
製菓部 電話四七七七番

臺北
大同履物商組合

營業種目
一營業用人力車
一自家用人力車
部分品・タイヤ★
及各種中、袋
臺北市太平町四九五(双蓮座邊)
王捷發商店
電話[illegible]〇九[illegible]番

臺北
北人力車營業組合
電話四〇九一番

土木建築請負
勞力供給
林工務所
林才
臺北市下奎府町參ノ貳四
電話[illegible]貳六[illegible]番

電話 商品券 債券 賣買
正和電話店
臺北市建成町貳丁目九番地
電話 貳參貳五番

臺北市建成町壹ノ壹九八
自動車蓄電池
鑛山用蓄電池
臺北蓄電池工業所
各種電機捲替修理
自動車用部分品
電話壹〇四[illegible]番

靴 鞄 足袋 卸商
株式會社
勝芳商行
本社 臺北市太平町貳ノ四九
電話六四七七番
工場 臺北州海山郡鶯歌庄尖山

[illegible]
金子工具部
工具部 臺北市下奎府町四ノ五六 電話五五六壹番
鐵工部 臺北市宮前町四〇四番地

毛織物 絹織物 麻綿布物 裏地類 (卸・小賣)
大越商行
臺北市太平町三丁目
電話四二六一番

羅紗 絹布 綿布 麻布商 卸
大菊商行
臺北市太平町三ノ一九〇
電話六六五七番

建材 卸商
三星印便利瓦臺灣代理店
三德スレート商會
臺北市下奎府町四ノ六〇
電話四六一一番

臺灣煙草賣捌人組合
臺北支部員一同

●吉は断然お安い正札の店
既製服專門
婦人服
子供服
吉
吉村洋服店
台北市榮町三丁目
電話六三二九番

明けましてお目出たうございます
昨年中は意外の御引立を辱う致し誠に有難く厚く御禮申上げます。本年も相變りませず倍舊の御引立をお願ひ致します

結髪なら……
富士美粧園
臺北市榮町モンパリ前

機械 工具 電機 地金 材料 計器
臺北市新起町壹丁目七番地
臺灣總督府計量器特許販賣
◇
池田仲藏商店
電話 長四參八番 四六八參番 七四五九番
振替口座 [illegible]
略號(イケタ)又(イケ)

官衙指定工場
陸船用發動機
其他諸機械
株式會社
中田製作所
臺北市寺町壹六四番地
電話貳九參四番

株式會社
乾元藥行
臺北市永樂町
取締役社長 朱樹勳
電話三〇六七番

大
服地のデパート
株式會社
大和洋行
臺北市太平町三
高級 婦人 子供 背廣地
向新柄服地

三宅オフセット印刷
臺北市新起町二ノ一七
電話七一四〇番

古鐵商 ウエス
臺北市中庄子六九番地
⼆
二葉商店
山本平吉
電話 [illegible]
基隆支店
臺中支店
臺南支店
高雄支店
マニラ支店
[illegible]

營業種目
內地杉
臺灣檜
生松杭木
床材料一式
柿板
其他各種

コ
池山材木店
臺北市末廣町一ノ一七
池山重一
電話四三五二番
第二木場 壽町四ノ三
電話七六九一番

機械製作
廣畑鐵工所
臺北市老松町壹ノ貳五
電話四六六五番

臺北市大龍峒町六五
昭和家畜株式會社
電話七五三二番

シボレー自動車特約販賣店
ヨコハマタイヤ特約販賣店
メイハツ號自動三輪車代理店
臺北市表町
南邦自動車株式會社
電話長貳參四 貳八參四 七〇八七番

ライジングサン石油會社代理店
臺北市北門町[illegible]番地
阿久澤商行臺北出張所
電話參[illegible]〇貳番
本社 臺北市榮町參ノ壹
電話(長)七七五壹番 七七六壹番

臺灣棉花株式會社
嘉義工場 嘉義市竹園子貳參七
臺東工場 臺東街臺東北町壹四

大日本燃料鑛業株式會社
臺北出張所
臺北市樺山町六八
電話 三七八四 六八〇二番

株式會社
丸石商會臺北出張所
臺北市京町參丁目壹番地

專門花柳病科
台北市太平町二丁目(大稻埕入口)
周磐石
電話五五三二番

本店 臺北市榮町
株式會社
臺灣銀行

支店
臺灣 基隆、新竹、臺中、彰化、[illegible] 臺南、高雄、宜蘭、[illegible] 南投、屏東、臺東、[illegible]
在外 大連、上海、廣東、[illegible] 香港、バタビヤ、マニラ、新嘉坡、スラバヤ 漢口(駐在)、スマラン、孟買、倫敦、紐育
內地 神戶、大阪、橫濱、東京
中支派遣員 江灣、蘇州、鎭江、南京、蕪湖 安慶、九江、南昌、武昌
海南島派遣員 海口、三亞

株式會社
日本勸業銀行
臺北支店
臺中支店
臺南支店
新竹駐在員事務所
高雄駐在員事務所

株式會社
三和銀行
資本金 壹億七百貳拾萬圓
諸積立金 四千六拾萬圓
大阪市東區今橋
臺北支店(本町二丁目)
臺南支店(本町四丁目)
高雄支店(新濱町一丁目)

資本金 五百萬圓
臺北市大和町四丁目一番地
株式會社
臺灣商工銀行
支店
出張所
[illegible]

株式會社
華南銀行

臺中市大正町
株式會社
彰化銀行
支店 基隆、臺北、板橋、桃園、新竹、豐原、東勢、南投、埔里、大甲、清水、彰化、鹿港、員林、北斗、嘉義、臺南、高雄
出張所 高雄、草屯

株式會社
臺灣貯蓄銀行
臺北市本町二丁目四三番地
代表番號電話五貳貳〇番

株式會社
南興公司
營業所 臺北、厦門、廣東、汕頭
社長 加藤恭平
專務 奧村文市

製品項目
[illegible]
臺灣電氣製鋼株式會社
臺北市宮前町三百五十七番地
電話三〇五二番 二四五三番
臺北局私書函第一九七號
略號(タセ)

運
臺北合同運送株式會社
臺北州臺北市樺山町五拾壹番地
臺北驛前荷扱所 臺北市表町二丁目四番地 電話四二一二番
中央市場前出張所 臺北市京町一丁目四番地 電話三五二六番

營業種目
綿糸布、人絹人織織物、毛織物、麻布ノ販賣及貿易
一般織物ノ製織、メリヤスノ製造 被服ノ製造
帆布ノ加工、纖維原料ノ加工、交通運輸營業

株式會社
竹腰商店
社長 竹腰進一
支店出張所々在地 大阪、東京、高雄、廣東、海口、石龍、新塘、太平
工場
機布工場 臺北 松山、石龍
裁縫工場 臺北
纖維工場 臺北

高砂化學工業株式會社
臺北・東京・大阪

日本石油株式會社
臺灣鑛業所
臺灣製油所
臺北販賣店

臺灣土地建物株式會社
臺北、基隆、高雄、嘉義

臺灣倉庫株式會社
本店 基隆市
支店 高雄市
出張所 臺北市 臺中市 臺南市

臺北市濱町二丁目十三番地
臺灣瓦斯株式會社
電話 七、〇〇參番 七、〇〇四番

S
大日本製糖株式會社臺灣支社
創立 明治貳拾九年壹月
資本金 七千四百四拾貳萬圓
本社 東京市城東區北砂町參丁目四七九
出張所 東京市麴町區丸ノ內 昭和ビルディング六階
臺灣支社 臺南州虎尾郡虎尾街七〇

分蜜糖
耕地白糖
無水酒糖
酒　糖
精製糖
グラニウ糖
角砂糖

臺灣製糖株式會社
創立 明治參拾參年
資本金 六千參百萬圓
本社 高雄州屏東市竹園町
出張所 東京市丸ノ內有樂館
一手販賣 三井物產株式會社

分蜜糖 耕地白糖 甜菜糖
MS
精製糖 角糖 酒精
明治製糖株式會社
本社 臺南州曾文郡麻豆街麻豆四百貳拾九番地
東京事務所 東京市京橋區京橋二丁目八番地

鹽水港製糖株式會社
臺南州新營

臺中市高砂町壹八番地
帝國製糖株式會社

高雄州鳳山郡大寮庄山子頂壹九〇番地
新興製糖株式會社
社長 陳啓峰

臺東製糖株式會社

激流（63）

（禁上演）

久生十蘭作
伊勢良夫畫

疑惑（十）

照子が、話に乗つて來てくれたので、照子は、やれやれと思つた。この娘が「世間」に反感を持つてゐるのは事実でも、深いところでは、やはり冬彦と眞波の結婚に賛成でありやう筈はないのだから、その点では、まづまづ二人の意見が一致してゐるわけで、照子が乗つて來た以上、あとは照子に任せて置くに限ると思ひ、自分はそろそろ身を退きにかかつた。

照子が、わざと面白さうな笑ひ声を立てて、

「それは、いつたいどういふ意味なのかしら？」

照子は、横開西の小説本の上にグイグイ出た頤を捺きつけながら、

「意趣は、意趣よ。……意趣の内容かも知らないわ」

照子の方でも、そろそろ逃げを打つてゐるらしかつた。

照子は、追ひ縋つて、

「ひどく、思はせぶりねえ。[illegible]ないでせう、もつとはつきり仰言いよ。眞波さんだつて、聞いて置いていいことなんだわ」

照子の方もさるもので、それには乗つて來ずに、急に話題をかへ

「……ねえ、をばさま、さつき仰言つた土地の話つて何のこと？」

思ひがけないところを衝かれたので、ちよつと返事に困つたが、すぐ立て直して、

「月山さんが農場を移す地面がなくて困つてゐるのでせう。熱海にいい地所が見つかつたから、もしなんだつたらお世話してあげようと思つて」

照子は、本の上に頭を伏せたまま、白眼でジロリと照子の顔を見あげ、

「へえ、馬鹿に親切なんだなア。それ、どなたの土地なの？」

さすがにグツと詰まつて、咄嗟に返事が出來なかつた。

「ちよイとね。それは、まだ言へないの」

「でも、叔母さまにすれば、冬彦さんの激励、別に邪魔にしてゐるわけぢやないやうね。それどころか、死ぬまでそこにゐてもらひたいつもりぢやないのかしら」

「それは照子さんの方の意向でせう。月山さんの方では、どう考へてゐるかわからないことぢやないかしら」

「それは言ふまでもないわ。あたしに冬彦さんの気持なんかわからないけど、困惑するところがなくて困つてゐたのは以前の話でせう。今はもう動く気なんかないんだぜ」

他人のことにまるつきり無関心のやうな顔をしてゐて、そのくせ何もかもよく知つてゐる兎に角扱ひにくい小娘だつた。

「すると、あたしの親切は無駄のやうなものね」

「無駄なことは、あなたがいちばんよくご存じぢやないのかしら。冬彦さんが叔母さまの傍から離れたがらないことをよく知つてゐるくせに、土地のことなぞ言ひに行くのはちよつと妙だわね。……あら、ごめんなさい。こんなこと、あたしの言ふことぢやなかつたわ。気になさらないでちやうだい」

こちらがやり返す暇も與へず、すぐまた次の話に移つて、

「ねえ、をばさま、あなた、冬彦を眞波さんの結婚にご反對らしいわね」

かうまでズバリと來るとは思はなかつた。思はず、嚴しい口調になつて、

「照子さん、冗談ぢやないわ。あなた、それはすこし言ひ過ぎよ」

「さうかしら？さつきからのをばさまの言ひ廻しを聞いてゐると、あたしにはどうしてもそんな風にしか思へないの。でも、これは、あたしだけの感想よ」

照子は、もう負けてゐられなくなつた。

「相変らず、お察しがいいわね。正直なところは、さうよ。眞波さんが氣の毒だと思ふからなの。この意味は、あなたにもおわかりでせう？」

照子は、落着き拂つた声で、答へた。

「あたし、そんなこと知らないわ」

六榕寺を訪れて

從軍詩日記（十四）

時雨音羽

北と南と

郷変れば品変るといふ。北と南が変らぬ訳はない。

きのふ廣門話に悩まされた僕達は今日は廣東語に、頭をひねらねばならぬ。それは、北海道と九州の如き、やさしい君ではないのである。

君愛君

、これは、君が好きだといふ廣門語であることは、前に書いたが、これが廣東では

君愛中君

である。万事この調子だからやりきれない。支那の民族は、大古の民族移動から考へて、これを陸上民族と、水上民族の兩者に、分けることが出來るやうである。僕は何にも、此処に民族の歴史を述べるのが本意なのではないが、これは確に支那を知る上にかて、一應認識して置く必要があると思ふから——陸上民族といふのは、黄河を中心として、放牧或は半農を営つて、生活する民族で、所謂漢民族中の、黄河流域から西北へと、發祥したもので、水上民族は、漁撈を主として、水の流れに従つて、轉々するもの、これは揚子江から南へと延びたのであらう。

北支の事は知らない、が、僕は今、廣門以南の見分に拠つて、或は廣東の、幾万千のこの船の生活を見て、この説が頷けるのである。

古來北方の陸上民族は、何時も支那の統治者の立場であつたことは、その歴史の示す処である。これは何に原因するものであらうか？陸と酒との差であらう。魚族を以つて、生活の根拠とする者は淫蕩たるを免れない、即ち生活の苦悩が陸棲者に比して、甚だ薄である。

征服者、被征服者の立場は、此処に明かとなつた。

征服者の北方漢民族からは、孔子が生れ、孔子の哲学が生れた。

孔子は人も知る支那の大聖人で儒教の祖、魯の国（今の山東省）に生れて、西紀前四百七十九年に、七十四で歿した。孔子の哲学は、現実的である。

南方民族の代表的哲学者は、老子であつて、その説く処は、理想的である。

孔子の現実哲学は
自己から、家族へ
家族から、社會
への、王道を説く經書（孔子の教へを述べた書）となつた。

現実から現実生活へ！
實際から實際生活へ！

孔子は夫を基礎に、王道を説き仁政を説いた。

これに反し、老子の理想的哲学は、虚無思想となり、或は国家否認論となり、平等無差別などといふ思想となつて、悉く南方水上民族の、浮草を代表してゐるかの觀がある。

南と北との相違は、斯くの如くである。

孔子の現実派からは、政治派のやうな武断實際派が現はれ、老子の理想派からは、孫文のやうな文治理想派が現はれて、各々その勢力を爭ひ、その死後は、種々な変遷でお互ひに、融合したやうにも見えるけれど、生活環境を異にした南北兩者の爭ひは、左様に簡單には、終らぬだらうと思はれるのである。此問題は、今日の南北兩支の融合にも、大いに関係があると思ふ。

さりながら、支那数千年の歴史を貫くものは、孔子の教へであつた。支那が今日尚一つ国として、存在するのは、孔子の力の大に拠るものであることを否めまい。

經書とは
經—詩經　書經　易經　禮記　樂記の五經
書—大学　中庸　孟子　論語　の四書である。

孔子の現実的な教へとは、どんなものであらうか？明代の洪自誠といふ人の著書に、菜根譚といふ名著がある。これは昔から、日本に多くの讀者を有つてる本であるが、支那の国民の根本思想である現実主義を論ずるに、好もしいもので、左にその中の一說を摘出してみやう

風斜雨急處要立得脚定
花濃柳艶處要著得眼高
路危徑險處要回得頭早

風斜めに雨急なる処は、脚を立て得て定めんことを要す。花濃かに柳艶なる処は、眼を着け得て高からんことを要す。路危く径険なる処は、頭を回し得て早からんことを要す。

大暴風雨の時には、脚を踏りと大地に着けて、力一杯に踏まへて居らねばならぬ、さうしないと直ぐと吹つ飛ばされて仕舞ふ。花の色香か、美しく濃かにうつとりとする処や、柳の緑の際のほか綺麗な処などでは、眼を一段と高く着けて、下らぬ外物など見ないやうにしなければならない。さうでないと、種々な魔性どもの為に、心が乱れて途には身を滅すに至るやうな事がないとも限らない。小径が険しい処に路が危なく、出會つたならば、直ぐに首を回らして引き返すがよい、若しも強いて進んで行けば、必ず危難に陥るに違ひない。

人間が此の世を渡るに就いても以上の道理を同じく、逆境に遇した場合は、心を鋼鉄にして之に処し、順境になつた時には心を一層引き締めてかかれ。危難に會つた場合でも、徒にぐづぐづしてないで、直ぐに心を他に轉回して、新たな方法を講ずるべきである。

とまアこんな具合である。これを主とする訳では無論ないが、孔子の現実主義が、その手段に斯くも生々しく、流れてゐる事を、許者は見逃すわけにはいかない。

廣東の市内に、大榕寺といふ寺がある。この寺の塔は、廣東の花塔として、有名である。高さ、二百七十フィート、頂天に銅柱を立て、金環がついてゐる。八稜形の九層塔で、梁時代の大同年間に、僧曇裕の創設したものだといふ。その名の如く、甚だ綺麗だ。廣東あたりで、よくこの塔の油繪を見る事がある。

この寺住の職は、却々偉い人だつたさうで、如何なる匪賊が現れやうとも、寺は絶對に荒させない、荒したくば僕を殺してから荒せと頑張るのだといふ。

菩提樹の葉を納めたものに、種々な佛像を畫き、賣つてあつた。寺もなかなか考へたものである。境內とて無く、長屋の眞中から、ユウツと臭が、それも鮮かな朱や緑や、金を交へた塔が、突つたつてゐる様は、如何にもチグハグな感じではあつた。

物賣りが、寺の門前へやつて來る。天秤棒が、日本のとは反對に上の方へ、跳ねあがつてゐる。まるで、肩に逆らつてゐるやうである。孔子の教へも、現在は恰度こんな風だといふやうに。——

筆が七面倒な方へ走つた。明日は方向を変へて面白い方へゆかう

ラヂオ

朝
【七・一〇】朝の挨拶、ラヂオ體操
【七・二〇】朝の修養（東京）御歷代天皇御製謹話（一）…文學博士河野省三
【七・五〇】朝の音樂（レコード）ピアノ獨奏—ハンガリア狂詩曲第十番（リスト作曲）レオニード・クロイツアー
【八・〇〇】ニュース、
【一一・〇〇】肉豚取引相場（各地）日用品小賣相場（各局）職業紹介事項（各局）
【一一・二〇】臨時官廳ニュース

晝
【一一・五九】正午の時報（東京）公示事項告知事項發表（各局）
【〇・一〇】晝間娯樂時間（レコード）朗かな演藝會—歌ひ初め（小野金次郎作、平茂夫編曲）川口義雄他大勢、落語—千代の正月…春風亭柳枝、漫才—僕の故郷…花菱アチャコ、千歳家今男、時局數へ唄…林田五郎、柳家雪江
【〇・四〇】ニュース
【〇・五〇】全島中等學校選拔野球大會（臺中）臺中市水源地野球場より中繼—雨天順延、定時放送には中繼—放送アナウンサー、田村アナウンサー、原田アナウンサー
【二・四〇】ラヂオ體操
【三・〇〇】ニュース
【三・三〇】廣東語ニュース
【五・三〇】ニュース
【六・〇〇】子供の時間（東京）童話劇—こども日本（北村壽夫作）長濱慶天他、合唱—十姉合唱隊、伴奏—東京放送管弦樂團、器曲指揮—河村光陽
【六・二〇】子供の新聞（東京）
【六・二五】講演（東京）日本道徳の特質—文學博士小西重直
【六・五五】カレント・トピックス（東京）

夜
【七・〇〇】子供の時間（臺北）唄—良敬會、箏伴奏—鈴木貞子、お琴と童謠　一、童謠（イ）お正月のうた（葛原しげる作詞、宮城道雄作曲）（ロ）凧の物賣り（同右）（ハ）一番星・二番星（同右）（ニ）富士の高嶺（同右）（ホ）春の夜の夢（同右）二、お箏—六段（八橋検校作曲）
【七・二〇】ニュース
【七・三〇】講演（東京）世界の新情勢と日本…外務大臣—野村吉三郎
【七・五〇】寄席中繼（東京）（人形町・末廣亭より中繼）一、落語…乘車券…柳家金語樓　二、浪曲むすめ…鈴々舎馬風　三、落語—花色木綿…林家正藏
【八・四五】寄席中繼（大阪）（北陽花月倶樂部より中繼）一、落語—國の津宮…桂三木助　二、漫才…地球は廻る…花月亭九里丸、淺田家日左衛門　三、漫才…千歳家今男、花菱アチャコ
【九・四〇】時報（東京）
【九・四一】歌謡曲（臺北）結城濤子、伴奏—臺北ラヂオ・オーケストラ　一、東京の女性（佐賀ゆり子作詞、明本京靜作曲）二、愛染草紙（西條八十作詞、萬城目正作曲）三、白鷗の歌（久米正雄作詞、竹岡信幸作曲）四、さすらひのギター　五、皇紀二千六百年頌歌（東京音樂學校作詞、作曲）
【一〇・〇〇】廣東語ニュース
【一〇・二〇】放送局通報ニュース、新聞通信ニュース、公示事項告知事項、局報、明日のプログラム發表（各局）
【一一・〇五】英語ニュース
【一一・二〇】北京語ニュース
【一一・三五】廣東語ニュース

謹賀戰捷新春
皇紀二六〇〇年
臺北太平町二ノ四二　電話二五五九番
鼎新醫院　院長　翁瑞春

賴水塗　臺北市太平町

黑板工務所　臺北市本町貳ノ六　電話參貳七〇番　小森忠一

土地家屋賣買、有價證券賣買、金融業
七福商事合名會社　臺北市若竹町貳　電話六貳參參番

菓子原料　各種製粉　白玉コンロ配給所
渡邊製粉所　臺北市老松町貳ノ壹貳　電話貳參九五番

森山木工所　臺北市濱町貳丁目　電話五貳六六番

御不用品高價買入
古物商　高橋商店　台北市新起町二丁目　電話四〇七四番

濱町アパート　臺北市濱町壹ノ五　電話參八壹貳番

海產物　紅茶　貿易商
中野十郎　臺北市宮前町壹八六番地　紅茶再製工場　電話長四九五〇番

お茶の御用は……
山本園茶舖　西門市場內　電話四貳六番

日光商會　臺北市宮前町　電話參五五貳番　代表者　林添福

訓眉建業株式會社　臺北市大正町貳條通り　電話四九貳〇番

銅工請負業　河本義龍　臺北市本町貳ノ六四　電話四六七參番

全島ナンバーワン
岡田修理專門所　臺北市本町貳ノ五六　電話五〇〇五番

優秀廉價
河合ピアノ　オルガン
台北千歳町・河合樂器

文明精米所　臺北市新起町壹ノ參　電話參〇七七番　店主　張有用

本年も不相變倍舊の御引立をお願ひ致します
張文明本店　臺北市兒玉町三ノ一　電話貳、五六壹番　店主　張有林

大正醬油株式會社　臺北市下奎府町貳丁目四十四番地　電話參〇參四番　振替口座八九七番

古本專門　野田書房　臺北市兒玉町參ノ九　電話七五九八番

洋紙商　同成商會　臺北市日新町壹ノ參〇五　電話六八〇番

履物問屋　田島保五郎商店　臺北市上奎府町貳ノ貳四　電話四八四四番

林代書事務所　臺北市太平町參丁目九四

道路標識　看板引受
ミツボシ★看板店　臺北市太平町貳ノ七

太平金庫店　臺北市太平町壹丁目

ハドソン自轉車　フエデラール貨物自動車　元
臺北市廣合洋行

鄭榮發洋紙店　支店　臺中市

臺北　北理髮營業組合　臺北市太平町壹

臺北市材木商協會

臺北醫師會

食道樂　曙　臺北市西門町一ノ一四（片倉通り）　電話四三四六番

蒲焼　てんぷら　川忠　臺北市京町一丁目銀座通り　電話五八貳〇九五番

蒲焼　天ぷら　よせ鍋　御料理　中惣　表町　電話貳八六八番

割烹　松竹　臺北市西門町二ノ四　電話參〇七參番

御料理　江戸長　臺北市西門町二丁目　電話參貳九八番

元祖みつ豆　松月　榮町一丁目　電話貳九五壹番

御料理　有馬屋　本店　兒玉町　支店　川端町　電話貳七六七番　電話參四四七六番

明けまして御芽出度う御座ひます本年もどうぞ
萬華河岸　かき船　千鳥　電話七〇二〇番

本年も相變らず、御引立をお願致します
カフエー大千　臺北市新起町壹ノ八七、八九　電話四〇一八番

本年も相變りませず倍舊の御引立をお願ひ致します
かき船いち山　臺北市萬華河岸　電話貳四九番

明けましてお目出度うございます本年も相變りませず倍舊の御愛顧御引立をお願致します
家庭食堂小安　臺北市末廣町　電話五二二八番

御料理　梅屋敷　臺北市北門町一九番地　電話二三九六　長二四七五番　二七九六

株式會社　大稻埕檢番　電話四八九八番

本年も一層御引立をお願ひ致します
サロンOK　臺北市太平町參丁目　電話四九九貳番

カフエータカラ　臺北市太平町　電話八貳四六番

臺灣料理　江山樓　臺北市日新町貳丁目

新年宴會　其他大小宴會　御婚禮披露
臺灣御料理　蓬萊閣　臺北市日新町　電話二〇六〇、二一九番
御定食…御家族連れ少人數の御會食には御氣安く理想的なグリル食堂御利用の程！

巴自動車　臺北市大和町二丁目

割烹　竹の家　臺北市大和町二丁目

草山溫泉　御旅館　巴旅館

結婚披露宴其他御宴會は
設備完全の……和洋室大宴會場あり
市公會堂食堂　モンパリ直營　電話四參四七番

全島社交場　カフエー　モンパリ

割烹　元梅本　新喜樂　電話二〇四壹、二五五三番

草山　溫泉旅館　御料理　大屯ホテル　電話草山貳貳番

萬華貸座敷組合　電話參壹六參番

臺北檢番　臺北市新起町一丁目

御料理　日本亭　臺北市濱町一丁目

割烹　卯乃花　臺北市川端町　電話貳八壹五番

季節料理御注文に應じます
會席　御料理　竹巴　臺北市元園町川岸第三水門東　電話五壹參五番
◉珍魚　御注文は四日前に願ひます

御料理　東　臺北市兒玉町二ノ九

明けまして御芽出度ふ御座います
御料理　菊水　臺北市北門町　電話七七六六　五參四七番

御料理　峰月　臺北市西門町三ノ一九　電話貳六參番

北投溫泉　御旅館　御料理　沂水園　電話參九番

頂北投溫泉　會席　御料理　双葉莊　北投電話壹貳四番

北投溫泉　會席　御料理　やまと　電話五參〇六番

草山同志會
多喜の湯旅館
草山ホテル
若草屋旅館
山海旅館
衆樂園巴食堂
大屯ホテル
巴旅館

二日千兩別天地
旅館　割烹　食道樂　北投溫泉　新高

北投　友鶴　電話壹〇六番
萬華　友鶴　電話貳九〇貳番

本年も相變らず倍舊の御引立を御願ひ致します
御料理旅館　北投溫泉　蓬萊閣別館　電話參〇番

北投溫泉　御旅館　御料理　吟松庵　電話六七番

北投溫泉　割烹　御旅館　初春　電話壹五四番

北投溫泉　御旅館　御料理　花月　電話壹參七〇番

臺灣料理　溫泉旅館　新泉閣ホテル　代表者　郭紅炎　新北投驛前

北投溫泉　御旅館　御料理　富乃家

北投溫泉　御旅館　御料理　桔梗屋　電話拾五番

北投溫泉　御旅館　御料理　新樂園　北投電一四四番

北投溫泉　御料理　新薈芳　電話一六番

北投檢番
北投料理屋組合
北投旅館組合

北投庄役場
庄長　室園武
助役　中野眞
會計役　林錦標
外職員一同

保證責任　北投信用購買利用組合
組合長理事　許丙
專務理事　陳定堦

北投窯業株式會社　北投庄頂北投別壹五五ノ武　電話北投壹番

世界史上から見た
皇紀二千六百年

文學博士　内藤智秀

世界史の内で皇統連綿として君臨し、無窮な二千六百年の歴史を有する国家は、我が国の外には他に發見することは出來ない、バルカンに於けるモンテネグロの国家は難攻不落の要害な土地に位置し、永く外敵の侵略を受けずに、第二十世紀に至つたといはれたが、世界大戰の結果、遂にユーゴスラヴイアに併合されてしまつた、エチオピアも亦アフリカの一隅に国を為し、ソロモン王の子孫として永く續いて來たのであつた

そして中世に於ては世界を忘れ世界に忘られて近世に至つたのであつたが、二十世紀になつてから、伊太利の侵略にあひ、今は伊太利の一植民地として現存するに過ぎないのである、斯様にして数へて來ると、現存する世界の各国家の内で、我が国の如く連綿實に無窮な二千六百年の歴史を有するものは他に類例を見ないのである何が故に我が国は二千六百年間永續し更に永遠に繁榮せんとする世界無比の国體なのであらうか、これは實に有難く尊い国體の然らしめる所であり、同時に自然地理的關係の然らしめる所であり、又それから助成された我が国民性の賜でもあるのである

即ち外国に於ては幾度となく革命が勃發した、そして思想的にも歴史を無視し、論理的で改新的なそして超国家的な変革をさへ見たのである、例へばギリシアの歴史でいふならば、紀元前第九世紀以前、ホーマーの時代のギリシア神話に現はれた半神半人の歴史時代があつた、然るにそれが紀元前第五世紀の頃になると、プラトーやアリストートルの如き人が出現して在來の半神半人的なギリシアの神話や傳說を全然無視し、之とは正反對な論理的な合理的な文化を以て之に代へるに至つた、これは正しく一の革命的な変革であつたのである

此の關係はキリスト教が發生した當時に於ても見る事が出來た、即ちキリスト教がローマの世界に傳播され、キリスト教的な世界觀が勢力を占めるやうになると、ギリシア的な合理的精神は少くとも一時失はれ、之とは正反對な神話的な宗教的思想が復活した、此のキリスト教的な世界觀は聖アウグスチヌスが說くやうに、結局神話的な世界觀の内に含まれるのである

即ち歐洲中世の宗教の隆盛であつた時代には、神話的世界觀の一つであるキリスト教的なものを認める思想が大成され、又轉きうつて來たのであつた、之は正しく合理的で理論的なギリシヤ思想に反向から反對したもので、之又一大革命的なものと見られてゐるのである、即ち斯様にして世界史上の思想的内容は百八十度づつ二度轉換したのであるから、ギリシヤのホーマーの時代へ復古したものであるといひ得る

二

然るに此の中世的思想は、近世の啓蒙主義時代に於て、更に百八十度の轉換を為した、即ち十八世紀に於ける啓蒙主義的時代になると、所謂文藝復古的で、傳統の拘束を脱した自由な知識を普及し、社會民衆を迷信無知の状態から脱却せしめんとしたのであつた、此の思潮は先づ英国のジョン・ロツクに始まり、經濟論を生んで佛国に係はり、ヴオルテールとかモンテスキユー、ルソー等に代表され此處に唯物論を生んで、それが佛国に於ては大革命を勃發せしめる原因となつた

然るにそれが、やゝ遅れて獨逸に係はりカントや其他の思想となつた、此の時代は思想史上の重要な時代で、現在の唯物論の萌芽が此の頃に蒔かれたといへるのである、此の時代に多くの思想上の偉人を出したが、伊太利のヴイコの如きも此の時代の先驅者といへるであらう

ヴイコはヘーゲルの思想の先驅を為し、第十八世紀の前半、其の著「新科学原理」に於て世界には認識すべき三個の分野のあることを述べた、その一は物理学者の觀察する自然の世界で、その二は形而上学者の瞑想すべき精神界又は神の世界であり、その三は人間が他より先じて取扱ひ主要なる興味を持つ處の国民の世界であるといつた

其の内第三の国民の世界といふのはヴイコによれば、これは未だ理解せられざる未發見の世界であるといつてゐる、即ち彼によれば世界現象の原理は各国民に於て極めて類似した形式で表はれる、即ち各国民は同様の運命に遭ふ、從つて世界史の原理を、一国民の歴史から歸納的に見て行くことが可能である、一民族を構成する人間の性質は何所に於ても同様で、各民族の世界は類似した相貌を持つといふのである、即ちヴイコによれば民族發展の終局の目的は美しき人間性の国、換言すれば正義觀念が支配する国を望むといふのである、即ち彼は人間の意思が歴史的現象を左右する事を述べ、人間に對し神の計畫に對立するだけの力を持たせたのであつた、即ち此の人間の力がなければ神の計畫でさへ實現し得ないといふのである、斯様にして彼は人間の意思の力を以つて歴史を動かす第一の原動力としてゐるのであるが、それと共に自然的原因を認めてゐる、そして歴史發展の理念の目的を以て神の啓示と一致させる、そして彼の思想には多数の調和が認められるのである、即ち彼は調和的なものを以て、總べてを說かんとしたのであるが、人間には先づ第一に缺くべからざるものを有し、次に第二には必要なもの、第三には快適なもの、第四には奢侈、浪費を求めるといふ、そして遂には一民族の政治は寡頭政治、貴族政治、民主政治、君主政治の順序で、變轉するといふ原理を說いた

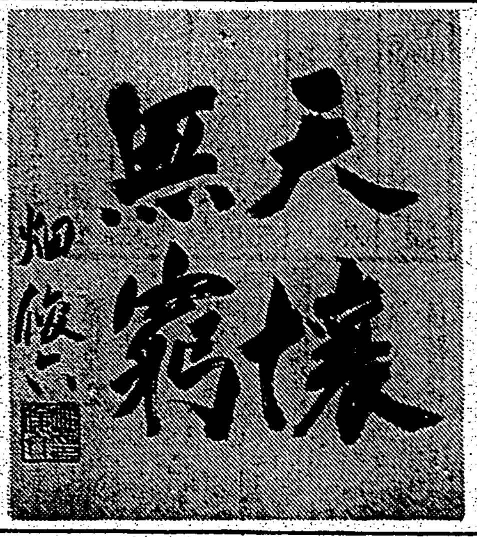
即ち近世になると、これらの啓蒙主義的なものの反動として、第十八世紀末に於て、先づ英国に産業革命が勃發し、それが半世紀にして佛国に行はれて、佛国大革命を惹起しワツトやアークライトの努力の結果、家庭工業時代から工場工業時代となり、近世的な社會組織が出來上つて、經濟的な資本家的指導の社會を風靡するに至つた

之は正しく歴史的な過去に反對したもので、遂にはマルクスの經濟的唯物史觀を生み、それが二十世紀に至るソ聯邦の革命的試みを誘ふ事となつた、然るに第二十世紀に於ける世界大戰後はムツソリーニとかヒツトラーによる全體主義的な思想が擡頭して來て、所謂右傾的であつて左傾とは正反對のものが中歐に於て支配力を有するに至つた

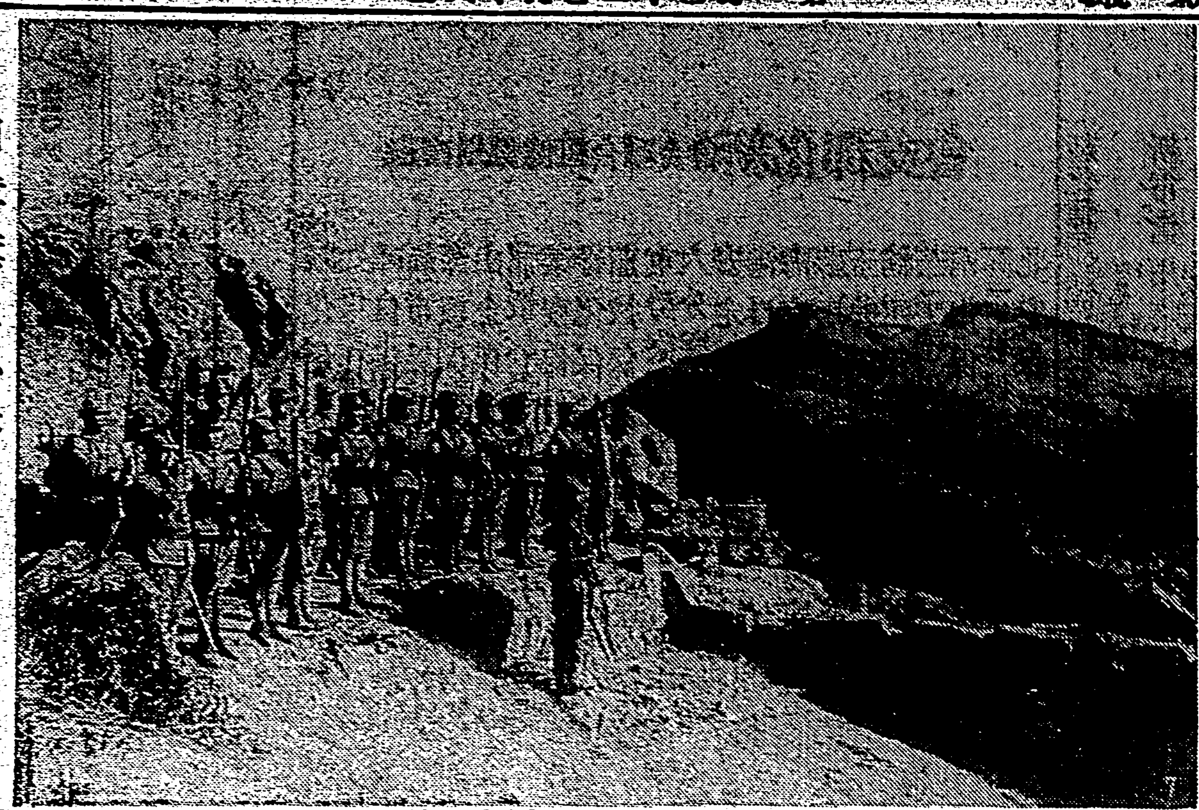
三

歐洲に於ては斯様に時代が改まると共に、常に新たなる、そして前者とは反對の方向から反對するものが支配力を有するに至つた、此の關係は支那に於ても亦同様にいへると考へる、即ち、王朝の變革と共に、主義や主張内容が全然變つて行く、實に正反對なものさへ勃興した、支那ばかりでなく中亞、西亞の各国に於ても亦之を見る事が出來る

然るに我が国に於ては、諸国の場合とは異り持つものは反對せられざるものであつた、古代の神話もそのまゝに活かされて開いた、かりそめにも之に反對し、正反對の理論的なもの、論理的なものを以て說く事は出來ないものとして今日に說く、即ち外來のギリシヤ的唯物的な論理を以ては說けないのである、此處にこそ我が二千六百年間の歴史の特殊性が存する、これを泰西式な理論を以て說かんとする所に現代人の悩みがある、之は特殊性を以て說くべきであり、日本的なものを以て解すべきであらう、此處にこそ二千六百年間連綿として續いた我が国の歴史を見出し得ると考へるのである



陸軍大臣　畑　俊　六　筆



日章旗はかがやく

明治の正月

萬造寺　龍

勿論明治であるが、私の思ひ出は、彼の市の追儺の話からはじまる。

それ程に私の郷里は迷信に對する迷信の深いところで、彼の市に福神を買はない家は無かつた。

名も有名な松川神社であるが、この神社が神棚に祀られて、その夜が明けると私の郷里仙台市にも正月が來たのである。

めでた唄

はつ春になつて先づ來たのが、三河万歳もさうであるが、おこそ頭巾の上へ小さなお多福の面を乗つけてめでた唄をうたつて來る旅藝の女連れであつた。

藁路を二三人とかたまつて來たが、商家の軒へ來ると黄色い声を張り上げて

おん店は目出度いおたな、四つの隅から黄金湧くおめでたや　ヨンイヤナ　ロンイヤナドツコイドツコイ

このや旦那様お多福顔で、ニコと笑へば福がよる　ヨンイヤナ　ロンイヤナドツコイドツコイ

山のきのこは何見ておがる　山女を見ておがる　ヨンイヤナ　ロンイヤナドツコイドツコイ

と道化に出でうたつた。さうすると店の内から小僧が錢か米を持つて出てその女共に渡し、さうするとめでた女はまた次の店へ行つた。

猿廻し

揃ろしいものに猿廻しがあつた、だまつて玄関に入つて來て、猿を家内に入れ込んでから猿廻しは、お目出度うございと云つて、手に持つてる太鼓をテテンテンと鳴らした。

氣がついて見ると、烏帽子を被つた赤い顔の小猿が鈴を手に持つてウロウロと私達の身邊に立つて物欲しげに円い目をキヨロつかせてゐたものだつた。

私達は茫然の上の金盃をほうり投げた。するとその盃巾を拾ふなり、猿はあやつり人形の如く部屋から消えて行つた。

寶船賣

一日の晩は「初夢」であつた。祖母はいい夢をみるんだよと、寶船の繪紙を私達の枕の下に入れて寢かせて呉れた。

あはい記憶であるが、元日の夜「お寶」「お寶」と寶船賣が町を歩いた。

一富士、二大鷹、三なすびでこれ等の夢をみるといいだとかなどと、小さい同志で、枕を並べて、私達兄弟は明るいうちから寢た。

鳥追ひ

江戸時代も初期になるが、京都の貧民與次郎が鳥を追ふやうな仕草で、手を打ちながら祝詞を唱つて來たのがはじまりであつたといふ鳥追ひは、町人お吉の活動寫眞で觀るやうな縞の木綿着に鳥追ひ笠といつた粋な姿になつて、私の幼い頃も正月に來た。

田舎のこととて、白けきつたやうな三味の音をさして、門から門へと鳥追ひ唄を唄つて廻る姿は、私ら子供達にもなんとなく氣味惡しくさびしいものであつた。

それで、万歳や目出度唄と異つて、鳥追ひが門に入つて來ると、いままでの賑やかな遊びをやめてこそこそと門の外へ出たものであつた。

七草粥、鳥追ひ

この日は、朝暗いうちから私達は起された。

そして長い竿を持つて、家の屋根に唐土の鳥が止まらないやうにと、ほういほういといふた。家の内では母達が、七草なづなと唱ひながらトントントンと若菜をきざませながら一所懸命になつて七草をきざんだ。

唐土の鳥とはきつくろい鳥に似た黒い鳥で、夜明に屋根に來てとまるか、それがとまつた家は必ず不幸に遭ふといふ話だつた。

戀の辻占

私達六夜になつて炬燵にもぐり込んでゐるととてもいい声で文句は忘れたが、何とかの戀の辻占と節を曳いて辻占賣が町をながして來た。

それが、現在酒場なんかに行つてゐると、買つて頂戴と女の子がみすぼらしい服装をして水つ洟を垂らしながら押賣りに來る辻占の前世で無かつたかと思ふ。

吉凶を書いた炙り出しの辻占で焚火の上で踊ると文字が出て來た

しかし、いま云つた少女で無くつてこれは男のしかも大人の仕事であつたと思ふ。

声も江戸名物の「甘酒」に似てよく、節廻しも同じだつた。

ちよろけん

これは祖母から聞かして貰つた話であるが、上方には

「大福ちよろちよろ、ちよろが参じました」

と黒い笠に赤い腰巾さ、手には竹の先を二つに割いたものを持つたものが、顔を掩い太鼓を持つた男に太鼓で打ち囃されながら來たとのことであつた。

その「ちよろけん」と云ふ名が子供の私にはどんなに面白かつたか、まるでちよろけんを見たやうな愉快が残つてゐる。—筆者は郷土史家、臺灣文藝家協會々員

海外小話
牡蠣にも劣る大臣

【ロンドン發同盟】戰時下だと云ふのに英國新聞の政府諸公に對する批判は相當手嚴しい、これも其の一例、この程デーリー・エクスプレ紙が戰時内閣の閣員を一人一人攻撃した時今をときめく食糧相モリソン氏の朝令暮改を槍玉に挙げて曰く、モリソン氏は牡蠣にも劣る、即ち新聞傳へられる所によれば牡蠣は年毎に雌雄の性を變へると云ふが、モリソン食糧相は毎日其の意見を變へてゐる、今日食糧切符制度に賛成したかと思ふと明日はこれに反對する、今日勇敢に新食糧政策を決定したかと思ふと明日は進歩政策には凡て反對する。彼が開いた屠殺場は彼の手で閉鎖を命ぜられる、モリソン氏は食糧省の政策を失敗から失敗に導いてゐる、食糧省で變らないことは唯一モリソン氏が來る日も來る日も内閣の一員であることだけだと云ふのだ

愉快な凧合戦

闘　文彦

林産物　たる竹と紙との最も愉快なる利用法は凧揚げでせう、凧揚げの效能は数々あるが凧揚げの元德と云ひますか寒風に吹かれつつ野外での遊びだけに皮膚を丈夫にすること、思ふ存分の日光浴ができること、青空を仰ぐことに依つて眼に良いこと、細い糸で上空に物を揚るところに兒童の思考力を涵養すること、凧其のもの構造が簡單であるだけに色々と工夫して自作出來る所に物理学的發明心をそそることなどが挙げられるでせう

兎に角　何事にも一利一害のあるものですが、凧だけは子供のお遊びが少し過ぎる以外には有益無害の全くの清遊と云ひ得るでせう

台北でも事變以來非常に盛んになり大人までも參加してゐる凧が多いのは誠に喜ばしい限りです、そこで一體心持ちで飛ぶいい凧揚げの常識は古來我が国各地で行はれてゐるのを見ますと自然と所謂凧合戦が伴つてをるのですが、これに依つて興味は一段と加はり長崎凧、濱松凧、鳥取凧、愛知凧、新潟凧など年中行事の一として夫々郷土的特色のある凧合戦が催されてをります

つまり　凧の切り合ひうばひ合ひです、そんな所から凧を揚げでは敵の凧を受けて切り落とされても文句は云へないのがお定まりです、切捨て御免です、さうして飛ばされた凧は第三者が取つても横領や窃盗罪に訴へる者もありません、ですから何時戰ひを挑まれても差支ないやうに常に凧に武器を附し武装して置くことが必要となり凧其のものも縦横に空中を活歩し得るやうなものでなくてはならぬことになります

武器に　は大體二通りあつて一つはガンギリと呼び鋼の刃を仕組んだものを糸目から十數尺おきに二ツ三ツ附けるのと今一つはビードロ又はビーツクと云つて硝子を粉末にしたもの若しくはコンゴウ砂を糊に混ぜて糸に塗り付けたものを糸目から二三十間の間に使用するのであるが凧同志切り合ひする場合には前者は下手から、後者は上手から引揚げて行く態が普通です

わたし　もつい此の間東門町の空地で自作の長崎凧に附けて揚げて見ましたが、折から近所の屋根越しに六角凧や角凧等が飛んで上つてゐるので迄い本心が出て一時間程の間に相手方七つを切つて飛ばして仕舞ひました

相手は　武装なしで中には子供さんのものであつたやうなので甚だお氣の毒に存じましたが、失禮ながら紙上でおわび申します、ほんの試めし切りだつたのです、若しあの時先方にも武器を持つて居たらこちらも殺られたのでせう、兎に角凧合戦は愉快なもので目下お正月にはふさはしい清遊です

—筆者は台北高等商業學校教官—

謹賀戰捷新春
皇紀二六〇〇年

内科　山崎醫院　榮町一ノ一　電話二〇七番　院長　醫學博士　山崎　蒻

小兒科　松山醫院　榮町一丁目八(新公園前)　電話四五四〇番

内科　小兒科　樋詰醫院　本町一丁目三番地　(入院隨時)　電話二五四七番

耳鼻科　咽喉科　天野醫院　榮町一丁目八番地　電話四四〇一番

眼科　塚原眼科醫院　表町二ノ八　電話四三四番　(入院隨意)　醫學博士　塚原義英

皮膚科　泌尿科　性病科　千本醫院　京町一ノ五二(部通り)・電話六〇八番　(病室完備)　醫學博士　千本信次

産科　婦人科　鶴田醫院　京町二丁目(宮通り)　(入院隨意)　電話四一九七番

外科　肛門病科　菅沼醫院　本町三丁目一番地　(入院隨意)　電話二九五四番

外科　肛門病科　X線科　菅野醫院　本町三丁目(宮通り)電話三五〇六番　(病室完備)　醫學博士　菅野尚夫

眼科　内科　森醫院　新起町三丁目五五番地(新起座裏)　電話五三三八番・森　三郎

耳鼻科　咽喉科　宮島醫院　本町二ノ六九・電話五六六四番　入院室完備　院長醫學博士　宮島　靖

台灣肛門病院　台北市表町二ノ一〇　電話二八八六番　院長　田村稻城

齒科　小林齒科醫院　台北市京町二丁目(部通り)電話二八八二番　醫學博士　小林靜夫

關屋小兒科醫院　台北市京町・電話（外來　三六七二番　病室　四四四六番）　院長　醫學博士　關屋重德　副院長醫學博士　高橋一松　女醫　齊藤富子　醫員　高木清壽

外科　皮膚科　泌尿器科　X線科　一番ケ瀬醫院　本町二丁目五番地　電話二七八九番

産科　婦人科　福田醫院　大和町一(南警察)　電話六九五四番　(病室完備)　醫學博士　福田英雄

内科　小兒科　大磯病院　兒玉町三丁目・電話六四八番・七二四五番　入院室完備　大磯友明

皮膚科　泌尿器科　性病科　三般丸醫院　大和町二丁目一番地(公安堂上向前)　(病室完備)　電話四八五番・六六三六番

齒科　青木齒科醫院　榮町三丁目台銀裏通(派出所前)　電話六七九五番

治療補綴　レントゲン設備　大原齒科醫院　台北市榮町四ノ三〇　電話六八六二番

齒科　藤井齒科醫院　明石町二丁目一番地　電話五三九八番

齒科　矢野齒科醫院　若竹町二丁目二番地(市場若竹町裏)　電話六一二三番

眼科　入院隨意　牟田口醫院　京町一丁目(部通り)電話七九六七番　醫學博士　牟田口義隆

小兒科　武藤醫院　表町二丁目三(中華隣り)　(入院隨意)　電話四八五九番

耳鼻科　咽喉科　藏田醫院　京町一丁目(春日通り)電話五三六七・五六三五番　(病室完備)　醫學博士　藏田恒人

口腔外科　杉山齒科醫院　京町二丁目二四番地　電話三七七二番

内科　秋山内科醫院　京町二丁目・電話五九九八番　(入院室完備)　秋山爲夫

内科　小兒科　内藤醫院　台北市新起町三ノ一〇〇　電話四七二七番

内科　小兒科　天野醫院　榮町台銀前　電話三五三・七六九〇番　(入院隨時)　醫學博士　天野一男

口腔外科　レントゲン科　道野齒科醫院　台北市京町三(春日通)貯蓄銀行横通り　電話七〇六一番　道野次郎

臺北市新起町二ノ一四、一五　鐵材商　蔡溪商會　電話二八四二・六二八番

臺北市　土木建築　機械工事　請負業　光智商會　陳海沙　電話五參貳〇番

龜甲萬醤油販賣株式會社　本店　臺北市本町三丁目一番地　出張員　臺南市本町二丁目九十三番地

臺北市公設　千歲町食料品小賣市場　公商會員一同

富士ミルク　富士クリーム　鐵道（守山珈琲乳）　名物（守山グリコ乳）　臺北市明石町二丁目一番地　株式會社守山商會出張所　電話三四二二番

臺北菓子商組合

臺北市榮町貳丁目貳拾參番地　臺灣硝子販賣株式會社　取締役社長　前田久吉　電話五〇九五番

臺北市表町二ノ二三　大同生命保險會社臺北支店　支店長　小川鐵哉　電話六五一七番

Ford　臺北市幸町百八拾番地　日本自動車株式會社臺北出張所　電話六五〇五番・五八七六番

純國産自動車　いすゞ號　臺北市中崙貳〇〇番地　東京自動車工業株式會社臺灣出張所　電話六參參八番

國産トヨタ自動車一手販賣　自動車、航空機、船舶發動機修理製作　臺灣國産自動車株式會社　本社　臺北市中崙　電話四八參〇番・五五四五番　出張所　[illegible]

臺北市堀江町壹九〇番　日本アスベスト工業株式會社　電話貳五七六番　取締役社長　森利吉　取締役支配人　田久保村太

東邦拓殖商事株式會社　本社　臺北市京町貳丁目參七番地　取締役社長　中村致市　專務取締役　谷村善次郎　廈門支店長　中　勉

盛進商行茶舖

胃腸の妙藥　風の妙藥　デルビー　ダンダン　臺北・[illegible]

謹賀戰捷新春

皇紀二六〇〇年

新化郡守
古川儀六

州會議員
梁道
新化郡新化街

臺南州保健組合聯合會新化郡支會

新化保健組合
知母義保健組合
哞口保健組合
新市保健組合
潭頂保健組合
山上保健組合
𦰡拔林保健組合
菜寮保健組合
善化保健組合
茄拔保健組合
東勢寮保健組合
六分寮保健組合
安定保健組合
港口保健組合
海寮保健組合
蘇厝保健組合
玉井保健組合
楠西保健組合
芒子芒保健組合
南化保健組合
岡子林保健組合
北寮保健組合

新化信用購買販賣利用組合
新市信用購買利用組合
安定信用購買販賣利用組合
善化信用購買販賣利用組合
山上信用販賣購買利用組合
玉井信用購買販賣利用組合
楠西信用販賣購買利用組合
南化信用購買販賣利用組合
左鎭信用購買販賣利用組合

新化郡新化街
新化輕道株式會社

新化郡水利組合
組合長 古川儀六

新化郡獸肉營業組合

新化郡漢藥種商營業組合

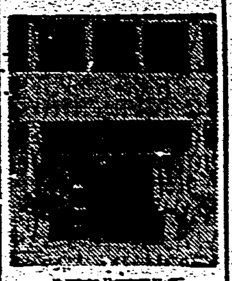
新化郡藥業組合

新化郡畜產助成會

新化郡理容術營業組合

新化郡新化街
黎明樓料理屋

新化郡料理屋飲食店組合



料理屋 新玉閣
陳天送
同 店員一同

新化郡
新化街役場
街長 森知明
助役 押川貞藏
外職員一同

新市庄役場
庄長 小野邦彥
外職員一同

善化庄役場
庄長 富澤丈三郎
外職員一同

安定庄役場
庄長 山本二郎
外職員一同

山上庄役場
庄長 佐藤善八
外職員一同

玉井庄役場
庄長 松本儀平
外職員一同

楠西庄役場
庄長 澁川梅雄
外職員一同

左鎭庄役場
庄長 坂梨德次
外職員一同

南化庄役場
庄長 蔡江池
外職員一同

新化郡南化庄協議會員（イロハ順）
陳木生　李天德　廖登燕　廖朝青　周山杉　李德川　詹能安　洪 誌　黃鳥鼻

新化郡山上庄山上 仁濟醫院
陳旺根

新化郡新市庄新市
王勇運送店
店主 王 外店員一同

新化郡耕地防風林造成組合

新化郡新化街安定
施震炎

新化郡新化街
王春樓料理屋
李明元

新化郡安定庄安定
公醫 林麗水

新化郡安定庄安定
醫師 陳強

新化郡左鎭庄左鎭
庄協議會員 葉春注

新化郡楠西庄楠西
公醫 上與那原朝光

新化郡玉井庄玉井
庄協議會員 陳連進

新化郡南化庄南化
山產物卸賣 順記商行

新化郡南化庄南化
公醫 庄協議會員 戴梯

新化郡新市庄新市
日本生命代理店
店主 外店員一同

新化街
新化旅館

新化郡新化街
行政書士 代書
林登祿

新化郡新化街
日華生命保險株式會社
新化代理店

新化郡玉井庄
永義製糖株式會社
社長 張傳 外職員一同

臺灣日日新報 新化販賣所
新化通信所
共榮活版社
陳福

新化郡
警察課長 金子定晴
內勤警部 重久二之助
高等主任 柏田一夫
司法主任 辻時昇
外勤主任 前田仁
玉井分室主任 佐藤祥

[illegible]

同万留庄万留
第三農事實行組合役職員一同

同万留庄万留
第一農事實行組合役職員一同

同万留庄万留
第四農事實行組合役職員一同

同万留庄赤山
赤山衛生組合
役職員一同

同萬留庄赤山聯合保甲
[illegible]

同潮州街
四林衛生組合

同潮州街四林聯合保甲
[illegible]

同潮州街協議會員
陳心宰

同潮州街四林
四林公學校職員一同

同潮州郡內埔庄內埔
會席御料理
福春樓
陳花佛

同內埔庄內埔
內埔聯合保甲各保正一同

同內埔庄新北勢
新北勢聯合保甲各保正一同

同內埔庄新東勢
新東勢聯合保甲各保正一同

同內埔庄
民風作興會

同內埔庄助役
李新松

同內埔庄內埔
內埔酒賣捌所
中西潔

同內埔庄內埔
內埔衛生組合役職員組合員一同

同潮州郡內埔庄
內埔公學校職員一同

同內埔庄
老埤公學校職員一同

同內埔庄
東片新農事實行組合役職員組合員一同

同內埔庄
會席御料理
東芳閣

同內埔庄
新東勢農事實行組合長
邱俊霖

同內埔庄
檳榔林農事實行組合

同內埔庄
忠心崙農事實行組合

同竹田庄
溝仔墘聯合保甲各保正一同

同竹田庄
竹田聯合保甲各保正一同

保證責任
新北勢信用購買利用組合
役職員組合員一同

保證責任
竹田信用購買利用組合
同竹田庄竹田
組合長 李才烈
常務理事 李才祀

同竹田庄
民風作興會

同新埤庄
新埤公學校職員一同

保證責任
新埤信用購買利用組合
組合長 [illegible]
常務理事 [illegible]

同新埤庄
新埤衛生組合
役職員組合員一同

同新埤庄
民風作興會

同枋寮庄
枋寮衛生組合
役職員組合員一同

同枋寮庄
民風作興會

同內埔庄協議會員
中西潔　安田慶次郎　鍾德尚　鍾東官　李德郎　劉慶財　黃丁郎　鍾阿鴻
山本直平　島本又雄　鍾梅貴　李禮郎　邱俊霖　林朝宗　劉鳳崗　林慈讚

美と魅力の近代化粧！

タンゴドーラン

時局の批判に
恥ぢないやう、凜とした
タンゴの健康化粧で興亞
女性の美と魅力を生かし
たいもの！

TANGODOHRAN
お顏の色に應じ一層美しくなる七色
一般の御婦人には…肌色
[illegible]
各デパート・藥店化粧品店にあり

姉妹品 固形タンゴドーランは
コナがこぼれず・お膝を汚さず——
こんな便ひやすい携帶至便の白粉はないと・最近代女性に
間に大評判ノビロードパフ付・魅力の七色・大小二種あり

株式會社・鳳鳥メール本舖
宇野達之助商會・東京大阪

興亞乙女の整髪に今年も
便利で經濟で若々しい整髮感の

紳士の整髪にも好評です

パリー製に優る國產最高基準品（純植物性專賣特許）

丹頂チック

金鶴香水株式會社

元旦早曉の明治神宮

昭和十五年元旦午前零時明治神宮に初詣でする帝都市民の波はこの時までに身動きも出來ぬ程に社頭近くを埋め新興亞魂の洪水であつた零時二十分阿部首相もミツ子夫人、令息弘毅、令嬢信子さんを伴つて明治神宮に初詣でした（寫眞上は明治神宮神前の參拜者の群、下は一般參拜者に混つた阿部首相夫人〇印）

銃後からの慰問品　胸躍らせて開く

南支新戰場の我が勇士

【欽縣にて岩村本社特派員】興亞の大聖戰に輝々しく赫々たる戰果を收めた欽縣攻略戰も疾風迅雷の如く今や各所の殘敵掃蕩戰も一段ついて皇軍將士達はホツト一息の態である、秋も立ち冬も眼中に見ゆるが遂に南支の戰線だ、朝夕の冷氣はヒヤリと心地よく秋の陽差しはまだ却に

強い 一寸晝間は暑さへ覺ゆるい氣候だ、昨日迄の百七十五晝夜の戰に戎衣も泥まみれ髯も伸びた何れか部隊長が爲閑かつかぬやうになつてゐる、久し振りに入浴だ、垢を知らう髭も剃らう洗濯だ、兵隊さん達は却々多忙だ大事な歩哨や事務の外に食事の準備、身の廻りの始末、何んと釣るべ落ちの秋の一日はくもなく立つてしまふ、其處で今日は慰問袋が配付された、各人一袋づつだ、鄕土の人達が心を籠めて送つてくれたもの、躍る胸を走らせて開封する煙草、落花生、飴、征露丸、手拭等々却々氣の利いた內容品である忠勇なる將士の皆様益々御元氣で御奮闘のことと存じます……此の頃は特に寒さ激しくなりか

身體を丈夫にして……可愛い皇軍の慰問文が同封されてある、百万の敵來る共微動だにせぬ勇士達も銃後の人達の誠に思はずホロリとしてゐる、慰問、感激の淚である、昨日迄の戰鬪には八日間我々は總てを忘れて只管に敵を追したのだ、もう三日も續いて一寸の煙草にもありつけず煙草々々と誰かが一樣に辛を摑りしめて、うなつたものであつた、今一週間の戰鬪を挑び、嗅い銃後の贈り物を手にして感激の淚に咽ぶと共に思ひ出されるものは勇ましく華々しく散つた戰友のことである、あああの時あの瞬間友は宗部として興亞の礎石になつて南支戰線の華と散つた、此日の喜び、此

感激を友に分ちてやりたいものを—、秋の日はもうトップリ暮れてしまつた

五支會を中心に　欽縣に治安會誕生

新政權擁護をスローガン

【欽縣にて岩村本社特派員】新日華建設の理想をスローガンに新政權の擁護と皇軍の協力に發ひてゐた欽縣が今や皇軍の恩威の下に輝かしい更生の基礎を築いてゐる、復歸者は日を逐うて激增し縣城では戰前にも勝る賑かな都市となるであらう、欽縣攻略と共に附近部落に避難してゐた數千万の良民は皇軍の眞意を知り、夜を日に次いでなされる道路補修に役等は率先勞力を申出でるもの續出し又欽縣警備隊に出頭して何か作業をさしてくれ我等の村我等の街を日本軍の治安の下に早く明朗なるものにしたいと今〇〇警備隊長の指導下に欽縣治安維持會が誕生し毎日早朝から復歸者に對する良民證を何百何千と交付してゐる、取あへず元欽縣政府科員小學校教員前欽縣城鎭長（街長）の肩書を有する趙公廉氏が總務となり維持會生みの親として懸命の活動をなしてゐる此の欽縣附近部落には、既に永東、孟角、北星、平山、平心の五つの支會の組立を見此の五支會より更に各分會が成立される譯である、欽縣治安維持會會長には元同縣長として令名あり最も民衆の信望を得てゐる陳野樵氏が就任する筈で同氏は六十二歳民國九年から欽縣縣長として又最近まで欽縣商會長たりしもので蔣政權の排日抗日の政下にあつて非常に不遇な日に送つてゐたらしく、近く同氏の出馬就任と共に右五支會を翼に欽縣治安維持會發會式が盛大に擧行せられる計畫である斯くて此處にも蔣政權の壓政より脫して「[illegible]新中央政府」のスローガンの下に眞の安居樂業の天地が拓けて行く

欽縣の良民らは皇軍に悅服

杉本中尉から陣中便り

[illegible]から吉の便り、目下欽縣方面にあつて[illegible]中の〇〇部隊本部[illegible]杉本力雄中尉から舊知の本社[illegible]員に宛て左の如き便りが[illegible]

き戰線の[illegible]が送られて來たたは本文末尾には特に岩村特派員も元氣旺盛ですと附け加へてある（前文略す）私も元氣旺盛御奉公致して居りますから何卒御安心下さい 御參考迄に此度の作戰中の手記の一部を御知らせ致します、聖戰茲に二歳有半敵

抗日 政權の末期愈々迫れるの秋〇〇附近戰鬪攻略の大命を拜し勇躍其途に就く思ふに本作戰は〇〇附近に蠢動する敵を擊滅し餘喘を保てる敵の補給連絡を遮斷すると共に抗日政權に一大鐵槌を加へふる將意極めて深きものなり十一月〇日我〇〇部隊は準備の周到と企圖の秘匿とに萬全を期し前村〇〇港にて乘船數百隻の船舶は威風堂々南支那海の周洲を經て一路南進を續く其威容の壯絶言語に絶す出航以來〇日にして〇〇灣北端〇〇港に碇泊し同地にかて同じ任務の光榮に浴せる

精鋭 〇〇部隊と合す流石に廣大なる〇〇港も浮城を以て充滿す此港は去る日露戰役の際世界に誇るバルチツク艦隊が小癪にも日本海軍を撃滅すべく攻撃準備の爲め約十日間も碇泊せし歷史的の港なり、〇日以來連日天候極めて惡く雨を混へたる[illegible]濟洲米に及び年來より[illegible]支那海は文字通り怒濤逆巻き荒天を冒し長驅万里の波濤を克服し十一月〇〇深夜〇〇海岸沿地に侵入するも大風の敵陣は寂として眠れるか如し陸岸に母船より小舟に移乘前進命令を待つ

將兵 は敵地を睥睨し已に敵を吞むの槪あり[illegible]れる小舟は木の葉の如く危險に瀕すること數度か十一月十六日陸海空密接なる協同の下に敵の虛を衝いて果敢なる敵前上陸を敢行所在の敵を擊破し浸透せる敵相應地〇〇縣城攻略の敵情地形を偵察を沒し將兵の辛苦一方ならず、十一月十六日夜半より泥濘を冒して攻擊開始す敵は道路を[illegible]壞し要地に半永久的ベトン製トーチカ或は[illegible]を構築し防禦に努めたるも我部隊果敢なる攻擊に遭ひ一たまりもなく潰走す正午早くも難攻不落を誇りし〇〇縣城頭に

感激 の日章旗を掲げ勝ふ間もなく疾風迅雷の急追を續け同日夕刻〇〇（〇〇城北方十五粁）に進出夜を衝して敵第十九師司令部所在地たる〇〇に向ひ險峻なる山地を長驅突破す敵は此の神速なる攻擊に狼狽甚に退し軍用品の如きも占領せし〇〇團の本部（日本の聯隊）より師團司令部迄非常なるを以て通譯をしてて支那語にて師團副官を呼び出さしめ第一線部隊は日本軍の猛攻に依り其守備することも難しく貴殿如何にすべきか指示せられ度しと驚かしめしに副官曰く「目下司令部も退却準備中にし命令の暇なし勝手に退却せば可なら

ん」何處迄も**支那**式にて一同大笑すとに依り師團長已に全く戰意なし直に追擊、十八日正午敵師團司令部に突入占領す其取亂したる模樣を見師團副官の言語を思ひ出し苦笑す其後頑強なる敵に對しては毫末も假借することなく斷乎追擊を加ふるも苟も善良なる庄民に對しては恩愛併せ施すを以て彼等も蔣政府の宣傳と全く正反對なる皇軍の寬容に接し自ら我軍に悅服し龍旗の草木皆に皇威輝くの有樣なり以上禍文の御笑覽御願知を兼ね御無沙汰を御詫び申上げます酷寒の候御一同樣の

御健 康を支那大陸の南端より遙かに御祈り致します、南支派遣〇〇部隊副官部 陸軍步兵中尉杉本力雄

獻穀田の田植祭

【高雄電話】高雄州東港郡萬丹庄新庄子の獻穀田は豫報十一日挿秧祭施行付來賓明の參加者により天候に惠まれ古代の威儀極めて嚴肅なので十一日午前十時半より赤崁知事、[illegible]郡守以下關係官民多數參列のもとに田植祭を嚴修すると

價値は未知數だ

佐野氏臺灣の砂金を語る

【東京二日發本社特電】タツキリ砂金の調査を終へ二十一日夜歸京した企畫院嘱託砂金調查隊の東大教授佐野秀之助博士は本鄕の自宅で語る

調査を終つただけですから未だ結論とも何とも云へません、基隆金瓜石では百以上に亘る砂金段丘があり多額の含有的段丘のある事だけは推定出來ます、産金の選鑛狀態や採掘方法、地理的條件を調査する事が大切だと思ひます、我々が臺北に引揚げた時ドヨン段丘から約四匁の小指の爪程の塊金が出たが未だ未知數で希望は今後にかけられる譯です

永靖に植檢派出所

臺灣總督府植物檢查所では台中州員林郡永靖庄永靖信用購買販賣利用組合にて植檢派出所を新設することに決定、一月一日より植物檢查事務を開始した

臺拓の高木氏廣東へ

【高雄電話】臺拓高雄支店長高木拓英氏は今般廣東支店長兼務を命ぜられ一日午後十時四十分高雄驛發夜行にて[illegible]基隆に向ひ同地より近日の便船にて廣東に赴任する

三萬袋の臺灣米

高雄から初荷として內地へ

【高雄電話】米穀局高雄事務所では三日高雄港出帆の千光丸にて蓬萊米三萬袋を昭和十五年の初荷として內地各港向け積み出した

汕頭の日本居留民　盛大な新年拜賀式

【汕頭二日發同盟特派員】皇軍上陸以來初めて迎へる元旦を祝賀あらしむべく汕頭日本居留民會主催で軍官民合同で一日午前十時より市公園にて盛大なる拜賀式を行つたこの日天氣晴朗、紺碧の空には文字通り一片の雲もなく明朗汕頭を象徴する、〇〇部隊〇〇部隊長宮下將校〇〇名の參加あり官民側から日支官民七百名が出席遙かに宮城を拜し心ゆくばかり天皇陛下の万歲を高唱し赤子としての誠を捧げ奉つた、式後祝宴を[illegible]

獨船高雄で侘しいお正月

【高雄電話】昨夏の歐洲大戰勃發して逸早く九月一日高雄港にドイツ船エレムランド號（六、五二八噸）の入港した事は本紙既報の通りであるが、その後も依然として出港の模樣もなく故國の動亂をよそに四ケ月に亘つて高雄港に入港したまま動かず遂に同港內に滯したまま正月を迎へたが之に比較して碇泊中の各船滿艦飾を施し皇紀二千六百年を港一ぱいに祝福したがドイツ船のみはマストに一の旗も

花蓮港の新年交禮會

【花蓮港電話】花蓮港街の紀元二千六百年奉祝會並に新年交禮會は一日午前十一時昭和會館に開催、國歌齊唱、宮城遙拜の後紀元二千六百年奉祝歌を齊唱、梅田街長の祝辭あり一同盃を擧げて聖壽の無窮を壽ぎ奉り高原郡長の發聲で天皇陛下の万歲を三唱、十一時半閉式した

東京の武藏野線で　新春早々に大椿事

事故で死傷者七十八名

【東京二日發同盟】一日午後武藏野鐵道所澤、秋津驛間で貨物列車と客車と正面衝突し死傷者七十八名を出す大椿事を惹起し正月早々を不幸な騷ぎに彩つた、二日午後一時三十分池袋驛發飯能行二輛連結の客車が所澤飛行場驛より秋津驛中間に差しかかつた際秋津驛より飯能驛發池袋驛行八〇八貨物列車が疾走し來たりあはやと云ふ間もなく正面衝突し客車は奇蹟的にも脫線を免れたが乘客三百餘名は激突のあふりを喰つて將棋倒しとなり即死者十名、生命危篤者八名、重傷者二十名、輕傷者四十名を出し現場は一瞬にして阿鼻叫喚の巷と化し混雜を極めるに至り負傷者は直ちに附近の醫師を總動員して所澤市の各病院に收容手當中である、この慘事の原因は同日午後二時七分所澤で下り二〇七號電車の通過を待機すべき筈の前記上り貨物列車が同驛手荷物降しを終るやその儘タブレツトも交換せず發車したため上、下線でこの衝車が起したものと判明した

これは刄傷沙汰

【新竹電話】新竹市黑金町五〇二番地陳阿[illegible]（二[illegible]）同地鄭阿[illegible]（三[illegible]）兩名は何れも日雇業で又隣同志でありながら數年前より犬猿の仲で深く相憎んでゐた所二日午後二時頃些細のことから口論を始め妻は側にあつた長さ二尺餘りの[illegible]を持つて鄭の右肩部に長さ三寸深さ一寸五分の傷を負はせ（[illegible]）が驚いて逃げ出すのを背後から撲りかけに斬付け瀕死の重傷を負はせた、加害者は直に南門派出所に自首したので川野司法主任が部下と共に現場に急行實地檢證を行つた

第二次紐育萬博に　全幅的に參加協力

日本から正式の回答を

【ニューヨーク二日發同盟】ニューヨーク万國博日本館は昨年の會期において場內最大の呼物の一つとなり日本の眞面目を發揮したが今年五月から開かれる第二次會期參加問題に關しては万國博當局から再三參加の要請があり日本側委員長若杉總領事も東京と種々打合せた結果、之を受諾するに決し万國博當局に對し前年同樣全幅的に參加協力する旨一日夕刻正式に回答した

放送番組の一部變更

台北放送局の四日放送番組中次の通り一部變更となつた

△午後九・四〇　獨唱神田千鶴子谷口又士（？）立松房（伴奏東京スヰング・バンド）一、セント・ルイス・ブルース、二、人の家も知らないで、三、アレキサンダー・ラツグタイム・バンド、四、荒城の月（トロンボン獨奏）五、林の我が家、六、アイルランドの娘、七、ダイナ、八、愛國六人娘

名人大會の一行來社

台北市では三日午前中、南部地各部隊勇士を公會堂に招待、目下開演中の東京名人大會によつて慰問をなした、なほ名人大會の吾妻春枝、[illegible]きわ、兒玉好雄、明石[illegible]江、北村[illegible]子の一行は林氏の案內で三日午後本社に挨拶のため來訪した名人慰演會は四日も晝夜二回公演される（寫眞は本社に來訪した一行）

凄い熱戰展開

全島軟式庭球戰大會

輝かしき皇紀二千六百年を迎へて本島スポーツ行事の劈頭を飾る第十六回全島軟式庭球選手權大會は二日午前九時より臺北市コートに於て華々しく開催された、參加選手約四百と云ふ未曾有の盛況に定刻一同整列、國歌齊唱、國旗揭揚に宮城遙拜その他型の如く開會式終り直に競技に入つたが何れも各地を代表する選手が集まる全島を目指す試合とて第一次戰からもの凄い熱戰を展開、[illegible]

▲中等部【準決勝】

（[illegible]）5—3（[illegible]）
（[illegible]）4—1（[illegible]）

【決勝】

（[illegible]）4—2（[illegible]）

▲一般部【準決勝】

（[illegible]）4—2（[illegible]）
（[illegible]）4—1（[illegible]）

【決勝】

（[illegible]）4—2（[illegible]）

▲OBの部【準決勝】

（[illegible]）4—1（[illegible]）
（[illegible]）4—2（[illegible]）

【決勝】

（[illegible]）4—1（[illegible]）

臺北の出初式

台北消防組の恒例に依る出初式は四日午前八時より新公園にて擧行されるが式次第は次の通りである

開式の辭、國旗掲揚（君が代一回）宮城遙拜、令旨奉讀、組長人員報告、警察署長服裝及器具點檢、分列行進、消防演習（喞筒操法、梯子乘、木遣、油火事、出場、消火各演習）警察署長講評及報告、消防組員勤續表彰、知事訓示、來賓祝辭、組長答辭、國旗降納、閉會の辭

あす基隆で出初式

【基隆電話】新春の港都を飾る恒例の基隆消防組出初式は既報の如く五日午前九時三十分から市公會堂橫廣場に於て擧行される

參加者五百餘

大屯山へのハイク

台北市教化聯合會主催の皇紀二千六百年を祝ふ大衆初登山大屯山行は三日（水）午前七時四十分台北驛集合の上決行された、興亞の春日和に相應しい天候で參加ハイカーも五百餘名の多數で一同勢揃ひの上出發、北投面天平を經て正午近く大屯山頂に到り宮城遙拜、皇軍武運長久祈願を嚴肅裡に擧行、新年初頭の氣分も新たに遠き祖國の昔を偲びつつ晝食後午後二時頃下山、竹子湖より草山に下り午後四時近く解散、この意義深きハイクを終へた

發火演習と猪狩

【基隆電話】輝く新春を迎へ基隆郡警察課では三日早朝から正午頃まで警察職員の非常訓練を行ひ、郡下貢寮庄坪林附近方面の山野で發火攻防演習を展開、別働隊は猪狩などを催して新春劈頭警察員の士氣を昂め態位向上に有意義な一日を過した

臺南の犒軍鍋に百六十餘圓

【臺南電話】臺南市では二十日より臨時された恒例の救世軍犒軍鍋には白衣の勇士に寄せる絶大な市民の感謝と熱誠とに依り卅一日夜迄に合計百六十一円六十七錢に達した、內訳は一円紙幣五枚、五十錢紙幣十六枚、十錢貨幣九百八十枚、五錢貨幣六百七十九枚、一錢貨幣千六百六十五枚となり例年に比べて更に多數の一般大衆が理解と共鳴とを寄せてゐる事が示された

書道展に入選

【台中電話】台中市錦東書道會では一月七日から上野美術館で開催される[illegible]皇紀二千六百年奉祝書道展覽會に出品した台中市[illegible]小學校兒童千二[illegible]名出品、玉山氏外小學校兒童十二名出品してゐたが、何れも入選せる旨通知に接し一同歡喜してゐる

澎湖廳の新任二課長

【馬公電話】竹村總務課長は二日定期船湖山丸で着任、小野臨務課長は四日新竹にかて南部臨務課長から事務引繼を受け五日新任の豫定で南部臨務、村田警務兩前課長は二日夜軍官民多數の見送りを受け赴任した

轢死

一日午後九時頃基隆郡貢寮庄貢寮一四一にかて同地四〇[illegible]陳清[illegible]は下り貨物列車に觸れ約百四十米を引摺られて即死した、同人は平素精神に異狀があり同日就職中發作的に飛起きて戶外に驅行出し進行中の列車に飛込んだ模樣である

北工敗退

【神戸二日發本社支局特電】全國中等學校ラグビー大會第一回戰は二日甲子園南運動場で開催され台北工業は午後零時半より福岡商業と對戰前半八—一後半五—〇合計十三—一で敗退した

林田氏から百圓寄附

【新竹電話】前新竹州知事林田正治氏より新竹州支那事變後援會新竹州聯合會に對し金百円の寄附あり係員を感激せしめてゐる

北一中快勝

【台中電話】全島中等學校野球決勝戰は三日午後零時十九分から先づ台北一中對台中商業によつて開始されたが台中商業は北一中の攻守に阻まれ意氣揚らず結局六對二をもつて敗退した

中商　000000002—2
北一中（先）410010000—6

中商に凱歌

全島中等學校野球大會の第一日、二日の第一回戰花蓮港中學對台中商業の試合は午後二時五十五分開始八A對三にて台中商業勝ち五時四十分終了した

中商　01004201A—8A
花中（先）102000000—3

同第二日目三日の試合は左の如く行はれた

午後零時　北一中—中商
右終了後　基農—嘉中

大津麟平氏

佐久間總督時代の警務本署長たりし大津麟平氏は客臘二十一日京都市上京區の自宅にて逝去した、享年七十四、六日本葬を行ふ由

堤一馬氏

元總督府統計官堤一馬氏は大正十三年退官後鄕里久留米市小頭町にて悠々自適中一日急逝[illegible]

藤村議員の令息

[illegible]

けふの天氣

[illegible]

定期航空

[illegible]

大阪商船　臺灣出帆
[illegible]

東亞海運　基隆出帆
[illegible]

日本郵船　基隆出帆
[illegible]

辰馬汽船　出帆
辰宮丸　一月十三日
辰鳳丸　一月十八日

大連汽船　基隆出帆
山西丸　一月十二日
丸一組

商品券　電話　高價買入
卓上電話賣物あり
商品券　金融　三成社

萬なかだち

父龍太郎儀豫而病氣加療中ノ處養生相叶ハズ本三日午前八時永眠致候間此段謹告仕候
三重義和
蕨野甚四郎
北野嘉次郎
稅所愛之助
別府明
安樂畯次郎
鹽崎昌彥

父黄瑞楯儀永々病氣療養中ノ處養生不叶客臘三十日午前六時逝去致候間此段辱知諸彥に謹告仕候
黄瑞樹
[illegible]

臺灣總督府地方理事官從六位勳七等原知義儀豫テ病氣ノ爲[illegible]
高橋健太郎
高濱喜一代
田邊誠一
品田四勉
早川進秀吉
[illegible]

五月信子一座
連夜滿員御禮申上ます
本日より二回目藝題替り
1 愛憐　一つ
2 國　太平
3 祖國の花嫁
4 明治一代女
榮座

め娛らか心 書名對組る
斷然これだ
千潮
公會堂

新々堂春第二週封切
四日より
長脇差
園十郎
夢の巻
ならぬ戀
芳乃館

お待ち兼ねの
牢獄の花嫁
解決篇
阪東妻三郎
愈々五日封切
大世界

◆大入滿員御禮◆
東京名人大會
愈々本日限り
晝夜二回公演
於 公會堂

祝 紀元貳千六百年の新春
臺北 カフエー永樂
篠塚初太郎

戰線の春
北支長城にて

神武天皇の鴻業

皇紀二千六百年を奉祝して

（下）

文學博士　植木直一郎

かくて、賢将たりし道臣命は、翔び来れる頭八咫烏の向ふところに随つて皇軍を嚮導したので、皇軍は紀勢の間の峻嶮難谷を踏破して、遂に菟田の地に進出することが出来た

既にして天皇は到る処の土豪を綏撫し給ひ、梟黠にして皇軍に敵抗するものは悉く之を討伐し、而も纏繞するものは悉く之を許し給うた、而して此の間に於ける皇軍の征戦は決して容易なものではなかつたので、天皇は、屢次天神地祇を敬祭して威徳を神祇の加護に祈り給うたのである

南大和の兇賊が大むね平定した後、皇軍は更に前進して、終に北大和の長髄彦に迫り戦ふこととなつた、然し其れは決して生やさしいものではなかつた、然るに、偶々一羽の金色の霊鵄が飛び来つて天皇の御弓の弭に止まつた、皇軍の将士はこれを見て、霊瑞かくの如し、神佑我れに在りと感激した、加之、天皇も亦御歌を製り給ひて将士を鼓舞し激励あらせられた、かくて全軍を通めて、一挙に長髄彦を殲滅し給ふこととなつた

饒速日命は、天皇がまさしく天神御子にてましますことを確かめ知り、又此の国家は天神の御子にのみ[illegible]に依つて天神の御子にのみ授け給うたものである事を承知して居たので、長髄彦に謂つて帰順を説き論したけれども、長髄彦は頑ほ[illegible]を守つて敢て帰服するの意が無かつた、そこで、饒速日命は長髄彦の頑迷にして到底に「天人の際」を教ふ可からざることを見て、これを誅殺し、其の部下の衆を帥ゐて、天皇に帰服することとなつた　天皇は、其の忠誠の効を褒め特にこれを寵任し給うたので、其の子孫は永く皇室奉護の重職に任じて物部氏を称することとなつた

ロ　ロ

長髄彦の征定は大和に於て中洲地方の平定であつたので、天皇は乃ち畝傍山の東南なる橿原の地を卜び定めて、宮居をここにつくり、此処を六合八紘の中心として天業恢弘の洪業を経営し給ふこととなつた、此のとき皇都経営の詔は日本書紀に載せてあるが、其の文中に「且當に山林を披き払ひ、宮室を経営りて、恭みて寶位に臨み、以て元元を鎮め、上は則ち乾霊の国を授けたまひし徳に答へ、下は則ち皇孫の正を養ひたまひし心を弘むべし、然て後に、六合を兼ねて都を開き、八紘を掩ひて宇と爲むこと亦可からずや」とあるのに依つても、八紘一宇の御政治を行はせられる点に洪大無辺なる御精神の溌如たるものあるを拝することが出来るのである

橿原宮御の奠定、天皇は媛蹈韛五十鈴媛命を納れて皇后となし給うた、皇后は実に事代主命の御女にておはします

かくて其の翌年すなはち辛酉の歳の正月朔日、天皇は橿原宮に於て即位の大礼を挙げさせられた、日本書紀にこれを記して、「辛酉年春正月、庚辰朔、天皇橿原宮に帝位しろしめす、是の歳を天皇の元年と為す、（中略）故れ古語に称めまをして、畝傍の橿原に、底磐之根に宮柱太しき立て、高天之原に搏風高知りて、始馭天下之天皇と日す、号を神日本磐余彦火火出見天皇と日す」とある、稜威赫赫、天地にかがやきわたりて、既に八紘六合に洽く、八紘に及ぶの洪大無辺なる御事蹟を拝見し奉るべきである

ロ　ロ

最後に、吾人は、神武天皇の神祇を崇敬し祭祀を厳粛し給うた事蹟について記さねばならぬ、即ち敬神崇祖は、我が民族信念の顕現、国民文化の精神的根源であつて、歴代天皇が既くも特にこれについて厳粛の御範を垂れさせ給ふところである、殊に神武天皇は皇祖先の威霊を畏こみ、神祇の恩頼を仰ぎ給ふ御信念が深く厚くましましたので、東幸の征途に於ては、屢次神祇を敬祭して加護を仰ぎ戦捷を祈り給うたことは既に一言したところである、古語拾遺に拠れば、天皇、橿原宮御の後、（天照大神および高皇産霊尊）の詔に従ひて神籬をたてて諸神を敬祭あそばされた事実が傳へられてゐる、加之、天皇はまた、御即位の後、特に鳥見山の中に立てて、以て神祇崇宗の神[illegible]を祭り給ひ、以て報本の誠を致し、大孝を申べ給ふこととなつた、是れ実に天皇の御四年二月の事である

其の際の詔は、日本書紀に次の如くに載せてある

我が皇祖の霊、天より降鑒して朕が躬を光し助けたまへり、今諸の虜、已に平き、海内無事なり、天神を郊祀りて、用て大孝を申べたまふべきなり

此の如く、天皇が其の治世のはじめに於て、先づ大に神祇の祭祀を行はせられたのは、祭祀即ち政治の淵源なりしに依るのみならず、そもそも祭祀は政教の本たる所以にして、祭神、祭祖、崇祖の道が天下に通ずれば、凡百の制度も亦是れに由つて立つに依るからである、而も其れは皇天二祖の詔に従ひ給ふものであり、皇祖皇宗の遺訓を御実践あらせ給ふものであつたことに、我等は特に留意しなければならないと信ずる

日本の傳統

二千六百年を貫いた習俗

（下）

早大教授　今和次郎

靴はどうか、笠と蓑との形式は、恐らく最も原始的な雨具や日除けとして古くから用ひられたものに違ひない。支那南方の苦力の服装にもそれは全く見られず、既に変形してしまつてゐる。田舎や部落に出るときの野良衣そのものも、近時洋風のシャツや作業服が着られ出したりしてゐるが、在来の短上衣とそして股引の形式は、その恐らく最も古い時代に求めなければならないと推せられる。

かくの如く我国の民村には簡素だ太古からの傳統的物件が多々ある。その事の認識から、日本民族学会の諸氏が、各種の民具の蒐集をやり、二千六百年記念の博物館とせんとの計画で努みてゐる事の深き意義をも茲で考へたいのである。

衣服に見る

衣服の事に就いてやや詳しく考へてみたい。先づ今日の着物の生地か、小巾の反物の制である事は機械の発達しなかつた昔からの傳統として、その"縫"の短い事を考へさせられる。

今日の着物は、奈良時代に支那から来た服が、平安時代に寛かに緩く作られるやうに変つた際、その下着として拵られた小袖から出發してゐるのであるが、戦国時代に、平安時代の形式を武服や神官の装ひに残留せしめて、一般は形式ぬきに、下着のみを着る風習となし、それが今日に及んでゐると考へられるのであるが、その根拠は相当古い。着物の形式を今日どうにかしようとしても中々変更困難な因由は茲にあると思ふ。

衣服は上下二つに分れるのが我国では太古からの習はしで、奈良時代の服も上衣と袴に分れ、平安時代にもやはりさうであつたが、平安時代になつてから、袴が寛かな袴と、袴が各々の脚に密着する形の袴と二様用ひられた。そして今日の長着物は袴の寛かな袴のとき着用する下着から出發してゐるもので、袴るときには恐らく今日の着物と同様だつた下着のみだと推せられるのであるが、後に形式的な上衣も袴も略すやうになつてから、長下着だつたが為にそのまま日常の服として用ひられるに至つた。これに対し脚をしばり付けたやうなズボン式の袴は、上代から奈良時代まで一般だつたが、平安時代以後は専ら旅行や野外のものとして行はれる習はしとなつた即ちそれは野袴又は山袴であるが、今日、各地の農村に傳統的に或は実用的に残つてゐる股引、モンペの如きはそれであると云へよう。

一般的に云へば股引であるが、山形や福島地方ではモンペ、長野ではカルサンと呼んでゐる。

今日のわれわれは、西洋から移入した洋服生地で裁断するズボンを見る事に慣れてゐる目でモンペを見ると、馬鹿に田舎臭いと感ずるのであるが、西洋式の服が移入されない以前には、それは野外を駆け歩き、或は野の仕事をするときの普通の装ひとして、誰も不思議に思はなかつたのである。明治以後の人々はすつかりその事を忘れてしまつたのである。

そして防空演習に直面してわれわれは、新らしき必要にせまられて、平常の長着物の上にモンペを穿る風を都会の婦人達の上に見出して、その恰好がどうのかうのと云つたりするのであるが、我国の間の関係に不思議はない。七八十年の間全く忘れてゐたものが新らしく復活させられたまでの事だと云へるのである。ただしかし、今日の婦人は長袖の長着物を着て腰巾帯をしめて、その上にモンペをつけると云ふのだから、余りに重複してゐて、そこに滑稽味も湧くのである。もともと腰巾帯と云ふものは袴をつけない長着物の装ひに調和するやうに発育したものなのだから、長着物に腰巾帯をしめて、それに更にモンペをつけるその着合せが不自然で、従つて可笑しい恰好にならざるを得ない。

よろしくモンペ着用のときは腰巾帯でなく、また長袖でない着物にしたいのだが、さうすると平常着の上に、防空作業の為に急急にモンペを着ける意味と和服して来るからそこらの関係がややこしい

習俗と傳統

かく考へて来ると、一見何等傳統と関係なしと考へられる習俗のうちにも、多分に昔が生きてゐてそれがいつとはなしにわれわれの生活を包んでゐる事を思はずにはゐられない。一般の慣習のうちにも、食物や食べ方のうちにも、住居のうちにも、習俗と見られる総べてのものに、われわれの祖先の魂が通つてゐる事を思ひ、建国以来の何かが存在してゐる事を指摘する事が出来るのだと思はずにはゐられない。

タイ國龍頭猿……西澤笛畝

タイ國の文樂といふ樣な人形芝居で使用する頭であるが、頭の上に[illegible]な金色の冠を頂いてゐるもので、その顔の色彩と[illegible]味ある表現とは、[illegible]に推賞の價がある

戰爭笑話三題

英国は戦争勃發の直前建国以来始めての徴兵令を發布したが、戦争は英国の準備を待つて呉れる程の雅量もなかつたものと見えて、直に宣戦の布告となつた。そこで直ちに大動員を開始したが、元々徴兵制度を知らなかつた国だけに吹き出すやうな笑ひ話も相当に飛び出したが、ユーモア好きの英国人のこととて、忽ち軍隊笑話が大流行して、戦時下のロンドンの客間を賑はしてゐる。その二三の笑話を拾つて見ると次の通り

元運轉手の失敗

ある陸軍病院で軍医が顔を負傷した兵隊を診察し乍ら看護卒に向つて聞いて曰く「この兵は実に不思議な怪我の仕方をしてゐるが一體どうして怪我をしたのか」

看護卒「軍医殿、この兵の前職は自動車運轉手でありまして入営後駄馬追りをやつて居りましたが今朝の訓練中、駄馬が動かなくなつたのでその腹の下に潜り込んで修繕を始めようとして馬に踏まれたのであります。終り」

騎兵志願者の辯

ある若い男が徴兵に向つて騎兵隊に入りたいと懇願したので徴兵官は乗馬が特に好きなのかと思つて馬の事をよく知つてゐるのかと思つて聞いて見たら答へて曰く

「昨日始めて競馬で當つたのであります」

歩哨のユーモア

一人の歩哨が一台の軍用自動車に停車を命じ、運轉兵に通行証りを求めると車の中で聞いた少将閣下はならぬと強硬に云ひ張つてゐた。

「わしは旅團長で、通つてよからう」と静かに尋ねたら歩哨君もむろに歩哨に向ひ「自分には分らないのでありますが自分はこの先の橋が壊つてゐて危險だから、自動車を通してはならないと命ぜられてゐるのであります。然し閣下の御言葉でありますから、特に通行を許可します、終り」

三國志

（桃園の巻）

(96)

吉川英治作
矢野橋村畫

亂兆（二）

何進は、その報らせを手にすると、食議の席へ戻つて来て諸大臣以下一同に向ひ、

「ただ今、重大な報らせがあつたが、まだ公の発表ではないから、そのつもりで聞いて欲しい」

と、前提し、厳粛なる口調で、次のやうに述べた。

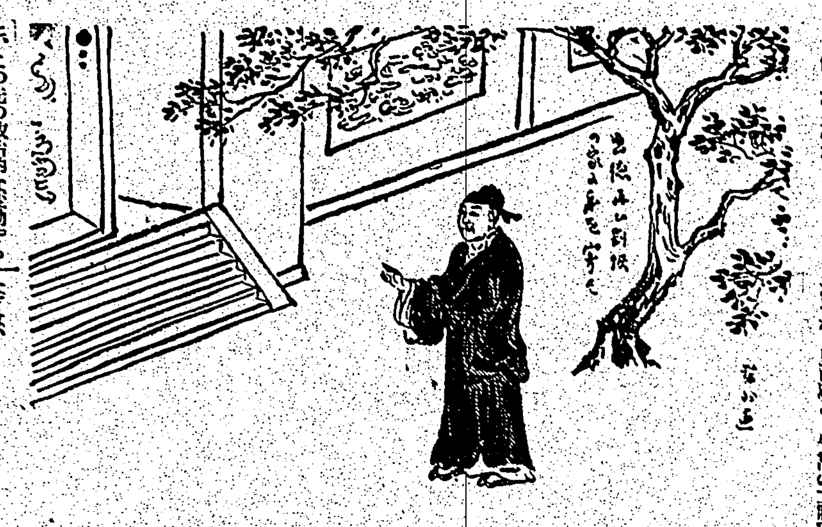
「天子、御不例久しきに亘つてをつたが、今日遂に、嘉徳殿にかて崩御あそばされた」

「……………」

何進がさう云ひ終つても、ややしばらくの間、食議の席は寂として声を発する者もなかつた。

諸大臣の面上には、はつとしたやうな色が流れた。予期してゐた事ながら、

――何うなる事か？



と、この先の政治的な変動やら一身の去就に、暗澹たる胸様がかくしきれなかつた。

しかも場合が場合である。

何進は、十常侍をみな殺しにせんと慮まいてこの席に計り、十常侍等は、何進を誅つて、亡き者にしようと、暗躍してゐるといふ折も折であつた。

那何兆が、

人々が、一瞬自失したかのやうに、暗澹たる危惧の底に沈んで、

――噫、漢朝四百年の天下も今日から崩れ始める兆か、

と、いふやうな現感に襲はれたのも、決してむりではない。

霊し、霊帝のうちに、人々は亡き霊帝を偲る近年の宮廷の淫ましい限りな女人と後讒の争ひやら、数々の悪政と腐敗を脳によび回して、今更のやうに、深い嘆息をもらし合つた。

×　×

霊帝は不幸なお方だつた。十常侍たちの見せる「偶臣」ばかりを目しられて、世の中の「真実」といふものは、何一つ理知なく死んでしまつた。

十常侍の一派に取つては、霊帝は即ち「自[illegible]」であつた。霊帝に過ぎなかつた。王座は彼等が悪政をふるひ権勢をつかむ好都合な地上であり座であつた。

その悪政を数へたてればきりもないが、まづ近年の事では、黄巾の乱後、恩賞を與へた将軍や勲功の者へ、賄から勝に人を追つて、

「公卿の功労を奏上して、公卿はそれぞれ莫大な封禄の恩典にあづかりたるに、それを奏した十常侍に、何の沙汰もせぬのは、非礼ではないか」

などと難癖のなぞをかけたりした。

恐れて、すぐ賂を送つた者もあるが、皇甫嵩と、朱雋の二將軍などは、

「何をばかな」

と一蹴したので、十常侍たちは交々に、天子に讒したので、帝は怒ち、朱雋、皇甫嵩のふたりの官職を剥いで、それに代るに、趙忠を車騎将軍に任命した。

又、張讓その他の内官十三人を列侯に封じ、司空張温を大尉に昇せたりしたので、さういふ輩道に集つた者は、十常侍に媚びおもねつて、更に彼等の勢力を増長させた。

稀々忠義をすすめ、真実をいふ良臣は、みな獄に下されて、斬られたり、毒殺されたりした。従つて宮廷の紊れは、何かず民間に反映して、地方にふたたび黄巾賊の残党やら、新しい謀叛人が蜂起して、治安擾下に天下の危機が聞えて来た。

この動乱と冥雲の再発に、人の運命も渦流に弄ばされる如く変を極めたが、時々、幸したのは前年来、不遇の地に起にれて、代州の劉恢の惰に永く身をかくしてゐた劉備玄徳であつた。

賀正

皇紀二千六百年！正に
無窮の皇運を壽ぎ奉り
大東亜永遠の新秩序
建設にその力を
致さんことを期す

元旦

製造發賣元
荒川長太郎合名會社

ノーシン

爽かな頭になる

本日
虫下しマクニンデー

戸毎に日の丸　戸毎にマクニン

駆虫による國民保健運動

マクニンが一番よいわけ
① 效力が強大で完全に駆虫し得るから
② 虫が死んで出て不快な感がないから
③ 絶對に副作用や中毒作用がないから
④ 多量の服用も連續服用も安全だから
⑤ 下剤の必要なく甘くて飲みよいから

株式會社　鶴澤友吉商店

太陽燈

光線療法講義錄
病氣は光線の不足から
日歐商會
本郷光線研究所

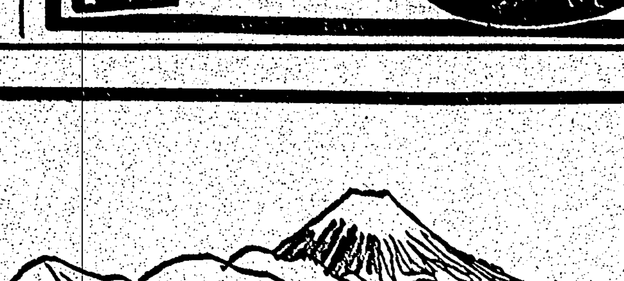
グリコ
モッテル
ユキダルマ

日活ハイキングコース

ベートーヴェン曲
第八交響曲
メンゲルベルク指揮
巨匠メンゲルベルクが「第八」の最高標準を示した雄渾絶美の名盤
洋樂盤　キング
日本テレフンケンレコード

日活　テイチク提携映畫
街の唱歌隊
青春華
テイチクレコード

トランシン
感冒に頭痛に



見上
東海の
空は
スモ
カに明
けて

タバコのみの
歯磨スモカ

新聞廣告・火災保險
株式會社
萬幸社
東京　大阪　東京部